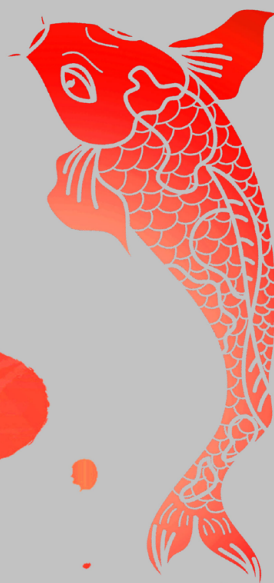


# 第63回建築士会全国大会 広島大会 記念誌

63rd Japan Federation of Architects & Building Engineers Associations HIROSHIMA Convention 2021

## 元気じゃけん！ひろしま

新しい時代へ  
ものがたりをつなごう



### 第63回 建築士会全国大会 広島大会

2021年11月20日(土) 広島グリーンアリーナ  
広島市中区基町4-1

Web同時開催・12月31日まで録画配信



主催／公益社団法人日本建築士会連合会 共催／建築士会中国四国ブロック会 主管／公益社団法人広島県建築士会 後援／国土交通省(予定) 広島県 広島市  
大会事務局／公益社団法人広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47広島県情報プラザ5F  
TEL：082-244-6830(代) FAX：082-244-3840 E-mail：zenkokutaikai@k-hiroshima.or.jp URL：http://www.k-hiroshima.or.jp/

去る2021年11月20日(土)、「元気じゃけん！ひろしま-新しい時代へものがたりをつなごう-」をテーマに、第63回建築士会全国大会「広島大会」が、東京都港区を主会場とするWeb併用ハイブリッド形式で開催された。2年に渡るコロナ禍の中、一年延期した上での異例の開催となった。

コロナ収束後の「ニューノーマル」を見据えた、新時代を探る機会となった。

## アーティストのご紹介

広島大会PRビデオの挿入歌「春夏秋冬～感動の瞬間をあなたとともに～」を歌うアーティストの「Mebius」さんをご紹介します。

「春夏秋冬～感動の瞬間をあなたとともに」は、エースJTB「感動の瞬間100選」テーマソングとして、日本の美しさをテーマに書き下ろした楽曲で、BSフジ「ESPRIT JAPON」1～3月度番組主題歌として、フランス他で放送されました。

### ■ Mebiusプロフィール

広島県出身。岡田真実(Mami)、岡田賀江(Norie)による姉妹デュオ。

2008年、ユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー。

JA共済、エースJTBなど、これまで20本を超えるCMソングなどを手がけ歌っている。

2010年、格式高いホールの一つ、ビルボードライブ東京にて行われた、GyaO!『キャンドルナイト・プレミアムライブ』に出演。

2014年(～現在)広島東洋カープ菊池涼介選手の登場曲に「#33」(シャープサンジュウサン)が起用され話題となる。

2017年、テレビ東京「THEカラオケ★バトル」では、妹賀江が高得点を出し優勝。

2018年7月、西日本を襲った豪雨により、二人の地元 熊野町でも沢山の犠牲者を出した。この災害を忘れてはいけないという思いから、復興応援ソング「フレフレのうた」を広島の小学生と収録しリリース。収益金の一部を広島県に届けている。

また、今年度からはエールエールA館専門店街のイメージキャラクターに抜擢され、活動中。



左:Mamiさん 右:Norieさん

## 目次

第63回建築士会全国大会「広島大会」を終えて	
公益社団法人広島県建築士会 会長 井本 健一	1
大会概要	2
主なスケジュール	3
大会式典	5
記念対談	6
<b>交流セッション</b>	
青年委員会	12
女性委員会	13
景観・街中(空き家)まちづくり	14
福祉まちづくり	15
防災まちづくり	16
歴史まちづくり/HM大会	17
「木の建築」「木のまちづくり」シンポジウム	18
環境部会	19
情報部会	20
表彰者	21
<b>支部の見どころ紹介</b>	23
三原支部	24
広島支部	25
尾道支部	27
福山支部	28
東広島支部	29
県北支部	30
呉支部	31
<b>地域交流見学会(幻のエクスカッション)</b>	33
Aコース:瀬戸内建築島めぐり	34
Bコース:世界遺産 日本三景宮島社寺建築と町家めぐり	35
Cコース:広島の現代たてもものめぐり(半日コース)	36
Dコース:日本遺産 瀬戸の夕凧 セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦	37
Eコース:尾道の海が伝える日本遺産めぐり	38
Fコース:たけはら町並み保存地区・西条の酒造施設群まち並み見学	39
Gコース:日本遺産建築群と大和ミュージアム	40
広島大会開催までのあゆみ	41
協賛団体、企業 実行委員会名簿	43
編集後記	44

# 第63回建築士会全国大会 「広島大会」を終えて

井本健一

第63回建築士会全国大会「広島大会」主管  
公益社団法人広島県建築士会 会長



第63回建築士会全国大会広島大会の開催にあたり、多くの方々のお力添えをいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

ご臨席いただいた国土交通省、林野庁をはじめ多数のご来賓の皆様にはご多用のところ誠にありがとうございました。またビデオメッセージによりご挨拶をいただいた広島県知事、広島市長にも厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度開催を一年間延期することとなりました。令和3年度では感染のさらなる急拡大を受け、現地広島での開催を断念せざるを得ない決断に至り、急遽、WEBを中心とした東京での「広島大会」の開催という異例の大会となりました。建築士会連合会をはじめ関係の皆様のご協力を賜り、無事、大会を開催することができ感謝の念に堪えません。

全国から建築士会会員の皆様にお越しいただく例年の開催方法と異なり、会場には300名余りの皆様にお集まりいただき、ほとんどの会員の皆様はWEBで参加いただくこととなりました。

広島大会に向けては、主催である日本建築士会連合会、共催の建築士会中国四国ブロック会、そして各都道府県の単位士会、とりわけ前回開催の埼玉建築士会および前回開催の北海道建築士会の皆様には、種々の相談に快く応じていただき、広島県建築士会会員一同、心よりお礼申し上げます。

広島大会を開催するにあたり、私たち広島県建築士会は、4年間にわたり、全国の会員の皆様を広島にお招きするための準備を着々と進めて参りました。

大会テーマ「元氣じゃけん! ひろしま 新しい時代へ ものがたりをつなごう」は、会員応募の10数案から選びました。このテーマのもと大会式典、記念対談、大会セッション、大交流会、エクスカージョンの各催しは、広島らしさを表現するものになるように検討して参りました。

大会ポスターはプロ野球広島東洋カープの赤色と鯉を基調とし、広島にある二つの世界文化遺産、廿日市市宮島の厳島神社、広島市の原爆ドームのモチーフを添えました。また実行委員会メン

バーには揃いの赤いスタッフジャンパーも設えました。

大会主要行事のうち、養老孟司氏、藤森照信氏による記念対談「解剖学者と建築探偵からの`遺言、～自然・歴史・文化・建築～」は、東京会場において当初の計画通り実施することができました。お二人には、養老昆虫館の建築の思い出、過去から現在そして未来につなげる建築や社会にまつわる話題を対談していただきました。

開催が叶わなかった大会式典のオープニングは、和太鼓の演奏とパークールとBMXがコラボしたパフォーマンスをご覧いただく予定でした。大交流会では、広島の郷土芸能である神楽と大会PRビデオで美しい歌声を披露した広島出身の人気デュオ、メビウスにも登場していただく予定でした。「ひろしままちづくりセッション」では、「BALL PARKから広がるひろしまのエンパシーとまちづくり」のテーマで、カープ球団の方々とセッションを計画していました。エクスカージョンは、広島県建築士会7支部が連携し、広島県内各地の建築や街、歴史、文化を満喫していただける自信の7コースを揃えていました。

コロナ禍での今回の全国大会では、全国47都道府県の大勢の会員に、開催地広島を訪問していただくことはできませんでした。しかしながら、新型コロナウイルスの全国の感染状況を鑑み、本大会では、会場に参加できる会員と映像・音声を通じてオンラインで参加する多くの会員とが、心をひとつに一体体験できる新しい大会の形が表現できたものと思っています。

「元氣じゃけん!」の言葉に込められる爽やかさ、明るさを保ち、ひろしまの過去・現在・未来を物語として紡ぎ、その体験を通じて、全国の建築士が新しい時代にチャレンジする勇気をお届けすることができたものと思います。

結びに、次回の第64回「あきた大会」のご成功をお祈りしますとともに、全国の建築士会会員の益々の発展とご健勝、「あきた大会」での再会を祈念し、お礼のご挨拶いたします。誠にありがとうございました。

# 大会概要

テーマ

## 元気じゃけん！ ひろしま

—新しい時代へ ものがたりをつなごう—

期日…2021年11月20日(土)

会場…浜松町コンベンションホール  
(東京都港区浜松町二丁目3番1号)  
WEB同時開催 12月31日まで録画配信

主催…公益社団法人日本建築士会連合会

共催…建築士会中国四国ブロック会  
(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)

主管…公益社団法人広島県建築士会

後援…国土交通省、広島県、広島市



東京会場のステージスクリーン

## ご報告とお礼

2020(令和2)年の第63回全国大会が広島で開催されることが決定された後、広島県建築士会では2017(平成29)年の京都大会から視察を開始し、翌年の2018(平成30)年6月に実行委員会を設置しました。

実行委員会では、毎月第3水曜日に定例会を開催することとし、埼玉大会のマニュアルを参考に詳細なスケジュール表を作成しつつ、大会テーマの決定やポスター、チラシのデザイン作成などに取り組みました。

広島県での開催が50年ぶりということであり、何もわからない中で準備を進める過程で、県内7支部から選任された実行委員会メンバーと、緊密な関係を築き連帯感を感じることができました。こうした大規模イベントを実施することは、広島士会の今後の活動に当たって大きなエネルギーになるものと感じました。

しかし、コロナ禍により2020年の開催を1年延期していただいたものの、2021年もコロナ禍は収まらず、やむなく広島での開催を断念させるを得ませんでした。会場を東京へ移しての開催となりましたが、記念対談の企画運営や歴史まちづくりセッションでの広島からの報告、大会誌や報告書の作成などについて広島士会が協力する形で、「広島大会」の冠を付けての大会としていただきました。

東京会場においては、広島士会の実行委員会メンバーが本番で使用する予定であった赤色のジャンパーを、連合会職員と東京士会会員の方々が着用され、受付やステージ設営等の作業をされておられました。「広島大会」でありながら、どこかお客様のような感じになったことを思い出します。

こうした経緯があったものの、皆さまのご協力とご尽力により、昨年11月19日(金)、20日(土)にすべてのプログラムを滞りなく実施することが

できました。広島大会の準備に携わっていただいた多くの皆さま方に、心から感謝申し上げます。

コロナ禍に翻弄されたこの2年間でしたが、広島士会のメンバーが一体となって取り組んだ経験はかけがえのないものであり、大会準備を通じて培った会員相互の連帯感が、今後の活動を支える力なるものと確信しています。

今年の全国大会は秋田で開催されます。秋田の地で皆様方と、直接お会いできることを楽しみにしています。

全国大会「広島大会」が無事終了できたことをご報告させていただくとともに、「あきた大会」が大成功となることを祈念申し上げ、皆さまへのお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

(佐名田敬荘／第63回建築士会全国大会広島大会実行委員長)



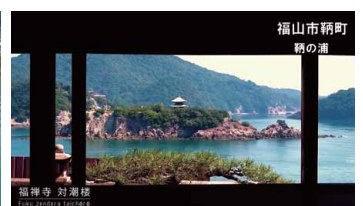
広島大会開催PR動画から



焼き牡蠣



厳島神社 鳥居



鞆の浦 福禅寺 対潮楼

# 主なスケジュール

会場…浜松町コンベンションホール

11月19日(金)  
全国大会前日

- 13:30～14:30 記者会見 (6F 会議室 C)
- 15:00～17:00 連合会理事・士会長合同会議 (5F メインホール A)
- 13:30～16:30 第11回まちづくり賞発表会 & 公開選考会 (6F 会議室 1)
- 17:00～19:00 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会 (6F 会議室 2)

11月20日(土)  
全国大会当日

- 10:00～11:30 「木の建築」「木のまちづくり」シンポジウム (6F 大会議室 A)
- 10:00～12:00 青年委員会セッション (地域実践活動発表会) (6F 会議室 3)
- 女性委員会セッション (オンライン配信のみ)
- 景観・街中(空き家)まちづくりセッション (6F 会議室 1)
- 福祉まちづくりセッション (6F 会議室 5)
- 防災まちづくりセッション (6F 会議室 6)
- 環境部会セッション (6F 会議室 2)
- 情報部会セッション (6F 会議室 4)
- 歴史まちづくりセッション / 第8回全国ヘリテージマネージャー大会 (6F 大会議室 B)
- 13:30～15:00 記念対談 (5F メインホール A・B)
- 15:30～17:30 大会式典 (5F メインホール A・B)



受付



あきた大会PR



オンラインセッション スクリーンショット



オンラインセッション 東京会場



オンラインセッション 広島会場  
(歴史まちづくりセッション / 第8回全国ヘリテージマネージャー大会)



東京会場 メインホール



記念対談



大会式典開会宣言



大会式典ステージ



建築物木材利用促進協定締結式



表彰式 建築作品賞表彰



大会旗引継ぎ



東京にて開催した「広島大会」担い手主要メンバー集合写真

# 大会式典

広島大会は「元氣じゃけん! ひろしま」をテーマに、コロナ禍の中、東京に会場を設定しWEB併用で開催しました。

式典は、メビウスの透き通るような歌声を交えた広島大会PR動画から始まり、広島県建築士会の佐名田敬荘副会長の開会宣言により開式となりました。広島県建築士会の井本健一会長が「会場を東京に移しての異例の全国大会になりましたが、『元氣じゃけん』の気持ちと行動で苦難を克服し、コロナ収束後のニューノーマルな視点で建築に係るさまざまな分野において新たな提言をする必要がある」と開催の挨拶を行い、国歌を新型コロナウイルス感染予防の観点から清聴し、この2年間にご逝去された677名の会員の方々を悼悼し黙祷しました。次に、主催者を代表し日本建築士会連合会の近角眞一会長が「新しい時代は、パンデミックと頻発し激甚化する自然災害から人々の命と暮らしを守り、脱炭素の建築をめざし、世界規模の災禍の発生を遅延・軽減させ克服することである。新しい時代に向け連合会は建築士が実践活動するために必要な技術力を培う責務を持っている」と挨拶されました。

その後、来賓の国土交通省大臣官房審議官塩見英之氏が「日頃より国土交通行政および住宅建築行政に格別のご理解とご協力を賜っている」と敬意を表され、国土交通大臣齋藤鉄夫氏の祝辞を代読し「脱炭素社会の実

現に向け建築士会の皆様が大きな役割を果たすことを期待している」と述べられました。次に、林野庁長官の天羽隆氏が「木材施策の推進のためには建築士の皆様のご支援とご協力が必要不可欠であり、本大会において『木の建築』『木のまちづくり』シンポジウム開催など真摯な取り組みに感謝します」と祝辞を述べられました。続いて、広島県知事湯崎英彦氏、広島市長松井一實氏のお二人からビデオメッセージにより、湯崎氏からは「地域社会の健全な発展と安全で安心な暮らしづくりに努めておられる」と、松井氏から「建築に係るさまざまな分野での活動を通じて、地域の発展やまちづくりに寄与されている」と祝辞をいただきました。その後、ご出席いただいた来賓の方々を紹介し、多数の祝電を披露しました。

次に、公共建築物等木材利用促進法の改正による木材の利用を一層促進するための国土交通省と民間団体による第1号となる「建築物木材利用促進協定」を国土交通省大臣官房審議官塩見英之氏と近角会長が同席して協定締結式を行いました。この締結により、日本建築士会連合会は国土交通省と提携し、木造建築物の設計・施工に係る人材育成や木造建築物の普及活動等を推進することにより、我が国の建築物における木材利用の促進を図って参ります。

その後、表彰式に移りました。表彰式では、

日時…令和3年11月20日(土) 15:30~17:30

会場…浜松町コンベンションホール 5F  
メインホールA・B

会場参加者数…208名

WEB参加者数…222名

令和3年度連合会会長表彰者118名を代表して秋田県建築士会の櫻庭星治氏が、令和3年度伝統的技能者表彰者23名を代表して広島県建築士会の徳岡秋雄氏が、日本建築士会連合会第1回建築作品賞大賞の愛知建築士会西口賢氏が、優秀賞として2グループ、個人1名が、U40建築賞2グループが、表彰状を受領され、最後に令和3年まちづくり大賞、令和3年地域実践活動表彰が行われました。

その後、大会アピールがあり、前段を広島県建築士会の井本健一会長が、後段を日本建築士会連合会の山本勝義副会長が高らかに宣言しました。

続いて、大会旗が井本会長から近角会長へ、近角会長から次期開催地である秋田県建築士会の淡路孝次会長へと引継がれ、淡路会長から挨拶と秋田県建築士会の方々による次期開催に向けたアピールが行われました(2022年10月14日(金)秋田市)。

最後に、広島県建築士会佐名田敬荘副会長による閉会挨拶で滞りなく式典の幕を閉じました。

この式典を無事終えることができましたことは、ひとえに皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。

(林 康文/大会実行委員会総務部会長)



大会主管 広島県建築士会会長 井本健一挨拶



大会主催 日本建築士会連合会会長 近角眞一挨拶



建築物木材利用促進協定締結



大会旗引継ぎ。広島から秋田へ



次期開催地 秋田県建築士会会長 挨拶



# 記念対談

日時…令和3年11月20日(土) 13:30~15:00

会場…浜松町コンベンションホール5F  
メインホール A・B

会場参加者数…166名

WEB参加者数…345名

## 演題

# 解剖学者と建築探偵からの「遺言」、

～自然・歴史・文化・建築～

## 対談者

# 養老孟司 氏 × 藤森照信 氏

東京大学名誉教授、医学博士

東京大学名誉教授、建築家、建築史家

## 聞き手

北台幸祐 | 広島県建築士会全国大会実行委員会総務部会 栄花彰子 | 広島県建築士会全国大会実行委員会総務部会

## はじめに

平成31年3月、広島県建築士会全国大会実行委員会総務部会では、記念講演の講師選定に向けて、大詰めの議論が行われていました。

約半世紀ぶりの広島大会ということもあって、記念講演の中身への関心は高く、20名を超える講師候補者の推薦がありました。最終的に、一人の講師による講演ではなく、養老孟司氏と藤森照信氏による対談に向けて進めていくことが決まりました。

その後、新型コロナウイルスの感染拡大により、1年延期のうえ、会場を広島から東京に移しての開催となりましたが、去る11月20日「これからの時代 建築士の大切な視点を考える」というテーマのもと記念対談が行われましたので、その一部を紹介させていただきます。

## テーマ別対談

**北台** それでは「テーマ別対談」に移ります。ここでは、「生きるということ」「建築というもの」の意味について、「時代の視点」「場所の視点」「新型コロナウイルスの視点」で、先生方からお話を伺っていきます。

## 今という時代

**栄花** 養老先生は、戦後の日本の変化について言及されることが多いですが、今の日本はどのような時代にあるとお考えでしょうか。

**養老** 端的に言うと理屈、理性の時代。コンピューター、AIというのが典型的です。理屈が通らないと何も通りません。

## モダニズムの行方

**栄花** 続いて藤森先生にお伺いします。歴史的、建築的な視点で捉えたとき、今の日本はどのような時代にあるとお考えでしょうか。

**藤森** 現代建築をモダニズムと言います。モダニズムというのは四角の箱に大きなガラスが入っていて、材料は鉄とコンクリート、そして装飾は付けません。

モダニズムは1920年代にドイツのバウハウスを中心に確立され、若い人たちが前衛的に始めた頃に力は無かったのですが、それがどんどん広がって行って、戦後には世界を席卷します。

ですから、今でも、大筋としてはモダニズムの時代と言えます。しかし、100年も経つと疲れてくるし、人間も飽きてきますので、モダニズムが

揺らぎ始めているというのを感じます。

別の言い方をすると、僕らが子どもの頃の高度成長期にかけて、とにかく科学技術は明るくて、科学技術が明るい未来を開いていくことを誰もが信じていました。でも今は、科学技術が若い人たちに夢を与えているようには思えません。

1920年代にバウハウスが始めた、基本的には科学技術を原理とし、鉄とガラスとコンクリートを使って、機能的な建築を、科学技術の時代に相応しい表現でつくっていく、というやり方が100年ばかり経ってほぼ役割を終えたと思うのですが、じゃあ、その代わりにどうすればいいのかというのは、まだ見えていないという気がしています。

**養老** 藤森先生が言われたように、モダニズムが終わったのか終わっていないのか、それはよくわからないですね。なぜかと言うと、代わりのものが見つかっていません。

**藤森** モダニズムが終わったのか終わっていないのかかわからないというのは、まさにそのとおりです。たとえば、このビル(浜松町コンベンションホール)はモダニズム以外の原理はどこにもありません。この大きさのものをつくらせたら、おそらくモダニズムだけしかないという気がします。

ただ、「その建築に人の心が惹かれるかどうか



藤森照信氏



養老孟司氏

か」という問題があって、これはものすごく難しいことです。

元々、建築（特に記念的な建築）というのは信仰のためにつくられていました。そして、信仰によって建築がつけられるということをモダニズムが終わらせたのです。

19世紀末にニーチェが現れて「神は死んだ」と言い、思想界に大きな影響を与えました。建築界はニーチェの言葉から直接の影響を受けなかったのですが、やっぱり、記念的で大きな建物は宗教のためにはつくらないという時代になっていきました。

バウハウスの人たちは口には出しませんでした。建築の精神的なパトロンを「神様」から「自然科学」に据え代えたのだと思います。

だから、モダニズムをつくった人たちはものすごく科学技術を主張します。有名なコルビュジエも「住宅は住むための機械である」と宣言し、人の生活すら機械のなかでするんだと言います。後にこの主張は止めますが、そういう激しい科学的な思想に走っていったわけです。

ただ、表現の世界でそのような動きをしたのは建築だけです。バウハウスの時点で、絵画や彫刻と建築は一緒にやっていたのですが、途中から、現代芸術はいろんな違うものに変わっていきました。しかし、建築は変わることなく、揺るぎなく、科学的な表現であり続けようとなりました。

どうして建築だけが科学的以外のものを認めなかったのかという問題はありますが、

だからこそ、科学技術を基本とするしかないのだと思います。これだけの人たちが、これだけの暮らしをしていくには、基本的にはモダニズム、科学技術でやるしかない。ただ、やっぱり違う原理が欲しい。

私の場合だと、自然の問題というのがすごく大事で、「科学技術と自然の間をどうするか」ということが、設計を始めたときからずっと、自己矛盾みたいなものとして私の中にありました。

それで、それを解決する方法として、見えないところには科学技術を駆使するが、見えるところではできるだけ自然のものを使うという方法、「科学技術に自然を着せるやり方」を苦肉の策として始めました。

養老昆虫館で言うと、建物の骨組みには鉄とコンクリートという科学技術を使い、そして、見えるところには土を塗ったり、焼杉を張ったり、自然の木を荒々しく使ったり、屋根のてっぺんに草を植えたりして、科学技術と自然との接点を、何とか自分で探ろうとやってきました。

最初のうちは、変なことをしているなと思われていましたが、最初に、隈研吾さんが評価してくれました。隈さんはそういうことに関心があったようです。今では、私への関心もだいぶ出てきてくれています。

しかし、私のやり方は特殊解であるはずと思っています。ほかにもいろんなやり方はあるのだろうと思っています。

## 建築士に求められるもの

**栄花** 今の日本の建築士たちに求められるものは何であるとお考えでしょうか。

**養老** いま私が非常に気になっていることですが、この20年間で経済のGDPは下がる一方、実質賃金も低下の一方です。

素人がこの状況を素直に考えると経済は成長していません。20年以上も「脱成長」ということです。

斎藤さんという若い人がヨーロッパの学者と一緒に『脱成長』という本を書いておられるので、「現代の日本というのをどう考えているか」と聞いたことがあります。つまり、すでに「脱成長」を果たしてしまっている国において、どのようにして「脱成長」になったのかということが一切理解されていない。

どうしてこのようなことを言うかといえば、環境問題について日本はヨーロッパから「日本は環境に対して関心が低い、関心が鈍い」と批判される側にあります。私はまったくそうでないと思っていますが、「そんなこと言われなくても日本はすでに『脱成長』しています。遅れているのはあなたたちの方です」という意見が日本の中からは出てきません。それは、今の経済状況をひたすら経済の面からだけしか見ず、経済成長しないことはマイナスであるとしか捉えないからだと思います。これからも、経済回復、経済成長の路線を続けていくと思いますが、本当にそうしていいのかということについて、この国では考え



養老昆虫館

なくていいことになっています。

そういう意味で、自分たちが住んでいる国がどういうふうに進んでいるのかということ、われわれは把握したことがないのではないか、という気がします。

この年齢になって、そうしたことが一番気になっています。

社会のなかに組み込まれているものの中に、もしその状況がそのまま変わらなければ、その社会が成立しなくなるというものがあります。たとえば少子化です。

東京の夫婦二人の子どもの数は大体1.2ですが、この状況が数世代経つと人口はゼロになってしまいます。こんな社会が長持ちするはずはありません。

それだけでなく、10代、20代、30代の若い人の最大の死亡原因は自殺です。われわれは、

若い人に未来がないという社会を営々とつくり上げてきたと言うしかない。そういう社会とは一体何だと言うのでしょうか。

今現在を生きるのが大変かどうかという、戦中戦後を知っているわれわれの世代からすると、今はものすごく楽です。そういう時代なのに、どうして未来を感じることができないのでしょうか。

建築に多少関係あることを言いますと、私たちが子どもの頃と比べると「家の設え方」がまったく変わりました。「これって、みなさんと相談して決めたのでしょうか」とよく言うのですが、日本間を無くして全部洋間になりました。

そういうのは人を変えますよね。家のあり方そのものが、生活の様式や日常を、本当に変えてしまうわけです。

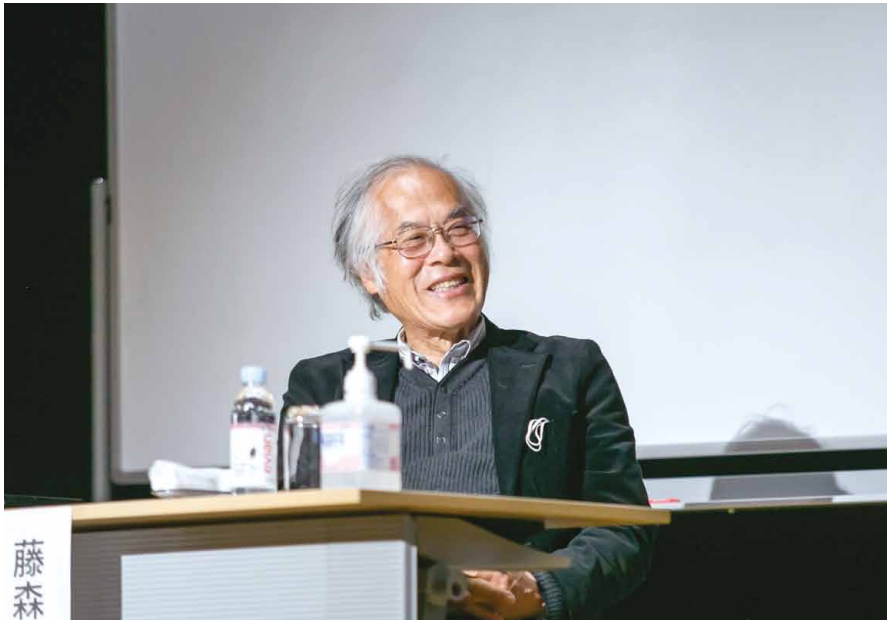
建築というものは、われわれがごく普通にやっていた日常生活を勝手に変えてしまうことがあり

ます。そこらへんのことを、もう少しお考えいただきたいのではないのでしょうか。日常生活ですから、影響は非常に大きいはずですが、ただしこれは全部無意識です。

## 自分の中の都会と田舎

**栄花** 養老先生は、都会と田舎の2拠点生活を推奨されていますが、それはどういったお考えでしょうか。

**養老** 都会と田舎と言われましたが、元々われわれは自分の中に都会や田舎みたいなものを持っています。ひとつは頭で考える理性、もうひとつは体のことで、これはまったくの無意識です。自分の内臓がどうなっているのか(たとえば肝臓に癌ができてしまっている)というのは、普通、意識では気付くことができません。だから、体のこ



藤森照信氏

とはわからない。

じゃあ、体のことが生き方に影響を与えていないのかと言えば、体の調子が悪いと、まさに全体の調子も悪くて、生き方に影響を与えますから、その影響は大きい。

だから、一番重要なことは、田舎に相当する体の調子がどのような状況であれ、まいいかという基準、どうい状況なら自分が快適に生きていけるかという基準（病院での検査結果というのではなく人それぞれ違う）、そういった基準を自

分で把握してもらいたい。

私は「猫を見習え」とよく言います。猫は、今の自分にとって快適な場所、自分の居心地がいい場所を見つけて、そこに行って寝ています。人もそれでいいのだと思います。

都会で暮らしていると、どうしても「頭で考える」生活が中心になってきますから、それに対してもうひとつ「体で考える」、つまり、体の一番具合がいい状況をもう一方に置いておくのがいいのではないのでしょうか。

問題は、都会の生活が長くなると無理やり体を都会に合わせてしまうので、自分の居心地がいい状態というのがわからなくなってしまっている、そういう人が増えているのではないかと思います。それを田舎で取り戻してもらいたい。

あと、家の中に、上手に体を使わせるような仕掛け、つまり、日常的にある程度体に不自由をつくらせてあげた方がいいのではないのでしょうか。今の時代、そうでもしないとまったく体を動かさなくても生活することができます。私の年齢になると、そういう生活が体に良くないということが、じつによくわかります。ただし、体が壊れてしまつたら別です。

体が壊れる前の人に、体に負担がかかる住宅を「健康住宅」と言ってます。(笑)

以前、「階段の高さと幅を一段一段変えたらどうですか」と極端なことを申し上げていたら、それを聞いた誰かが「バリアオンリーの家」だと言っていました。(笑)

## 地域性について

**栄花** グローバル化に伴い、世界的に地域性が失われつつあると思われていますが、建築と地域性の関係について、藤森先生はどのようにお考えでしょうか。

**藤森** 私の仕事について割と誤解があるようですが、私は日本の伝統や、地域性というものにさして興味はありません。

確かに、場所によって自然は変わります。緑の様子が違ったり、水があつたり、砂漠があつたり。ただ、うんと建築にひきつけて見てみると、石も土も草も水も、世界で差はありません。だから、建築の材料について、基本的に地域差というものは考えていません。

実際に日本でいろいろやるときは、もちろん、その場所のことは考えます。それは、一旦地域性というものから離れて、世界共通なものとしての土、木、石、水、植物を考えてみて、そしてその後、その個々の場所について考えています。

普通、われわれが自然と言っているのは本当にわずかな地表のことです。だけど、地表の上には空気があり、宇宙があり、地表の下にはドロドロに溶けた地球があり、そういうレベルまで一旦は考えて「基本的には地域性というものはない、世界はみんな一緒だ」というところまで考えたあと、実際の場所に行くとなつぱりいろんな差がある、というように考えています。

「世界はみな同じで、場所性というものはない」という考えを経た後に、地域性という性とい



藤森照信氏(右)と聞き手の栄花委員(左)

うものを考えています。

**養老** 藤森先生が言われた「個性」と「一般性」というのは、私が以前書いた「遺言」という本の中で繰り返し説明しているのですが、それは「違う」か「同じ」かということの問題です。

「違う」とは「感覚」のことで、「同じ」とは「意識」のことで、人間の「意識」だけが「同じにする」という特殊能力を持ちました。

「感覚をまったく無視」するのが現代人、ホモサピエンスです。「感覚をまったく無視」できるまで、「同じにする」能力を使う。この能力が「言葉」という概念を生み、「お金」を生み、「民主主義」をつくりました。

先ほどの話に戻すと、「個別論」と「一般論」の関係は、「感覚」と「意識」の関係と同じになります。

具体的な事物というのは、それが置かれている場所が違うため、「感覚」は「違う、違う」と認識しますが、「意識」はそれを車なら車、コップならコップと「全部同じ」に認識してしまいます。

建築の世界では、そのような作業を典型的に行っているのではないのでしょうか。何を「同じ」にして、何を「違う」にするのか。このことが、先ほど藤森先生が言われた地域性に関わってくるのだと思います。

ただ、私にとって地域性というものは非常に大事です。虫というのは、どこで捕ったかという場所によって違って来るからです。まさに地域性です。

どうしてそのようなことが起こるかと言うと、その虫がその場所に住んできた歴史（そこに入ってきたのはいつか）に関わるからです。

洪積世の土地と、沖積世の土地では、地面の中に住んでいる虫がはっきりと違います。地面の中に住んでいる虫は移動性が非常に限られるので、長い時間のあいだに独立の種類の虫に進化してしまう。だから、洪積世の土地ではどこで捕っても、違う種類の虫が捕れるわけです。それが地域性です。

地域性とは、今の場所が違うということと同時に、歴史の違いを示しています。

そして、それはおそらく人の場合も同じだと思います。

## 新型コロナウイルスの影響

**栄花** 新型コロナウイルスが社会に与えた影響、これから起こりうる変化について、どのようにお考えでしょうか。

**養老** 私の場合だと、Zoomの会議が増えました。これからはIT、AIといった分野で変化していくことが非常に多くなるのではないのでしょうか。



養老孟司氏

「AIは人間がすることの大部分をやってくれるので、今後は仕事なくなるから大変だ」とよく言われます。

しかし、ハハリという人は「仕事なくなることが問題ではなくて、仕事なくなった結果、することなくなった無用の人が増えることのほうがよっぽど大変だ」と言っています。

未来の大変さというのは、生きるのが大変というよりも、人のすることがなくなることらしい。そこらへんはどうなのでしょう。建築の世界でも人間がやることを残せるのでしょうか。

**藤森** コロナとか世界規模の戦争とかが社会にどのような影響を及ぼすのかを考えると、三陸の大津波のことを思うのですが、津波で被災した町を再建したけど人が戻ってこない、復興したいけど人は戻ってこない。

私は随分昔、三陸の町を結構よく歩いていたことがありますが、三陸の町はその頃からすでに人が減り始めていました。釜石の工場なんかもどんどん無くなり、漁村なんかも減り始めていて、地方の空き家もどんどん増えていました。

結局、震災がやって来て何が起きたかという、減っていくスピードが上がりました。あの震災が無ければもう少しゆっくりゆっくり減っていたと思いますが、あれが来たことで、外へ出た人が戻ってこない。要するに、新しいところに行っただけでなくなってしまっている。

大きな災害などが起きると、まったく新しいことが起きるというのではなく、すでに起きている

現象のスピードが上がる、すでに始まっていた変化のスピードが上がるのだと思います。

おそらく今回のコロナも、日本社会のいろんなところで起きている変化のスピードを上げる、たとえば20年後、30年後に顕著になるようなことが10年後に顕著になる、そういうスピードアップ化をする。

そして、それは世界的にもそうなるのではと思っています。

## 遺言

**北台** 時間となりましたので、このあたりで「テーマ別対談」を終わらせていただきます。

対談を終える前に、これからの時代を担って生きていく人たちに「今、伝えておきたいメッセージ」を「遺言」として、語っていただければと思います。

**養老** すでに先ほど申し上げましたが、みなさんにとって一番居心地がいい、生きやすい社会というものを本気で考えていただければと思います。

僕の知り合いは虫が好きで奴ばかりなのですが、大人になっても虫を集めている人というのは、どうしても世の中との適応が悪くなりがちで、食べていくことが大変になります。

まあ、「いろいろな人が居ていい」わけです。ただ、「居ていい」とだけ言っているだけでは無責任ですから、そういう虫好きみたいな人がある年齢になったときに食べていくためにどうする



対談風景



会場の様子

のかということ、みんなで考えることができる、そんな社会になるといいな、と思っています。

今日のような天気の良い日は、こんな暗いところに閉じこもっていないで、明るいところに出て行って何かをしたほうが良いと思います。そして、そういうことが素直にできるような世界になるといいな、と思っています。

大体、人口が増えれば良いというのではなくて、子どもが少ないというのはおかしいですね。

それから、若い人が死ななような世の中にならないといけないな、と思います。

**藤森** 最後に何を設計したいか。

私は、若い人への遺言は考えたことはないのですが、自分が最後に何を設計したいのかということ、割とリアルに考えるようになってきました。

そして、自分でも意外だったし、意外でもないのかもしれないのですが、「あの世」を設計したいと思いました。

最終的に「建築とは『この世』と違うものをつくること」というところに、私の場合は行きつつあります。

若い頃、そういうことをリアルに考えることはなかったと思っていましたが、最近は、漠然と抽象的のようなことについてでも、実感を持って考えるようになっております。

## おわりに

今回は限られた時間の中で「これからの時代建築士の大切な視点を考える」という少し大き

なテーマを取り上げましたが、対談中、「現代におけるモダニズムの意味」「家の設えと日常生活（無意識）」「地域性の見方」「新型コロナウイルスがもたらしたもの」など、それについて考えるヒントは数多くあったように思います。

日常生活や日々の仕事の中で、つい、私たちは先例的、短期的な視点に捉われてしまいがちですが、今回の対談が皆様にとって、少しでも幅広く、長期的な視点へと向かうきっかけになれば幸いです。

(北台幸祐／広島県建築士会全国大会実行委員会総務部会)

# 交流セッション

## 青年委員会セッション

テーマ

# 地域実践活動発表会

運営 | 青年委員会

令和3年11月20日(土)10:00～11:30に第63回建築士会全国大会広島大会青年委員会担当セッション「地域実践活動発表会」を、東京都港区の「浜松町コンベンションホール会議室3」と、長野県、神奈川県を発表者をそれぞれの発表場所から、Zoomウェビナーで結び開催しました。参加者は全員オンラインで参加する方式をとり、運営スタッフのみ現地入りする形としました。

コロナ禍のため、全国47都道府県の青年委員会では、イベントや事業が他の県や他ブロックにうまく周知ができていないという現状があります。

コロナ禍によって活発な活動ができていない地域も出ている中、その状況で工夫を凝らし活動している地域もあります。今年度は、そのような状況を考慮し、これまでのブロックでの選出に限定せず、各都道府県が立候補によって発表できる機会をつくりました。初の試みではありますが、それこそ、「他の都道府県の活動を知り、自身の活動の幅を広げ、建築士会全体の活性化を図る」地域実践活動発表会の趣旨につながります。

コロナ禍でも工夫している各地の活動を深く知ることで、今後の自県での活動につなげやす

くし、またオンライン開催とすることで、安心して参加できる環境をつくり、多くの都道府県の会員と意見交換をすることにより、交流しやすい状況をつくり、今後の活動の発展につなげたいと考えて、今回のような新しいやり方にチャレンジしました。

予選会もはじめて行い、予選会を勝ち抜いた2つの県が決勝を争うスタイルに変更しました。発表の仕方も、パワーポイントから動画に切り替えました。この切り替えは予選会でも好評であり、オンラインの伝わりにくいというデメリットを軽減することができました。また、予選会を行うことで、本戦の時間にゆとりができ、短いながらも、本大会での発表者の活動をトークセッションにより深く学ぶことができました。会議後のアンケートを見ても、ほとんどの視聴者の方から高評価をいただき、新たな青年セッションのあり方を考えるきっかけとなるセッションとなりました。

課題もまだまだ残っているので、課題解決にオンラインで議論する場を設ける計画をすすめています。

(稲見公介 / (公社)日本建築士会連合会青年委員長)

### ■受賞一覧

#### 最優秀賞

(公社)長野県建築士会

#### 優秀賞

(一社)神奈川県建築士会

#### 連合会青年委員会賞

(一社)東京建築士会

#### 特別賞

(公社)愛知建築士会

#### 奨励賞

(一社)北海道建築士会、(公社)福島県建築士会、(一社)山梨県建築士会、(一社)東京建築士会、(公社)愛知建築士会、(公社)富山県建築士会、(一社)京都府建築士会、(一社)奈良県建築士会、(公社)兵庫県建築士会、(公社)大分県建築士会

註 受賞は、各表記建築士会の青年委員会関係団体となります



最優秀賞・長野県建築士会上伊那支部青年女性委員会



優秀賞・神奈川県建築士会青年委員会

日時…令和3年11月20日(土)、10:00～11:30

会場…浜松町コンベンションホール6F  
会議室3

参加者…97名(山本副会長、単会青年委員等84名、連合会青年委員等12名)

## 女性委員会セッション

テーマ

# 和の空間の魅力を探る…みたび

## 「魅力ある和の空間ガイドブックWEB版」の活用

プログラム…①施設紹介 ②パネルディスカッション

司会…市川真理 | 滋賀県建築士会 コーディネーター…筒井裕子 | 連合会女性委員会副委員長

パネリスト…戸嶋真紀子 | 秋田県建築士会 茶谷亜矢 | 神奈川県建築士会 山本和代 | 兵庫県建築士会 大塚美由紀 | 愛媛県建築士会

運営 | 女性委員会

今大会の女性委員会セッションは、すべてオンライン配信で行った。今回は2018年からHP上に公開している「魅力ある和の空間ガイドブックWEB版」の内、秋田、神奈川、兵庫、愛媛の四県から映像による紹介と質疑応答があり、後半は各県発表者によるパネルディスカッションが行われた。

### 施設紹介

**[秋田県] 北前船交易の歴史を残す  
三軒の地主屋敷**

大仙市角間川…

旧荒川家住宅・旧北島家住宅・旧本郷家住宅  
江戸時代、秋田県南部の角間川港は北前船舟運の要所となって繁栄した。のち明治期には大地主を生み、地主屋敷3軒が連担している一角の景観が往時のまま残っている。旧本郷家以外は数年前まで詳細不明だったが、地元住民も巻き込んだ整備計画がまとまり、観光施設として歩み始めた。紹介動画は、土蔵のディテールなど細部の見どころも満載。

**[神奈川県] 未来への継承を謳い歴史を背負う  
和の空間と文化財と共に生きる**

姿勢を学ぶ

箱根町…萬翠楼 福住

伊勢原市…山口家住宅 (雨岳文庫)

箱根の萬翠楼福住は、随所に意匠性に優れた再現困難な細かい技術や細工が施されて、明治期より営業してきた木造3階建て老舗旅館である。維持管理も設計者・施工者・所有者がタグを組み守り続けたという。また、雨岳文庫は伊勢原市にあり、幕末の代官屋敷である山口家住宅と、同家に伝わる2万点近い古

文書や古美術品などを含む総称。同家輩出の政治家資料なども残り、展示公開されている。

**[兵庫県] 阪神間モダニズムの歩みを反映する  
個性的な和洋の建築**

神戸市…倚松庵

芦屋市…ヨドコウ迎賓館 (旧山邑家住宅)

西洋文化の影響を強く受けた和洋折衷の「阪神間モダニズム」様式の2例が紹介された。谷崎潤一郎旧居の倚松庵は、典型的な中流階級の和洋折衷住宅。谷崎研究者らの保存活動が実を結び、元の場所から150m北に移築復元されたもの。ヨドコウ迎賓館は著名建築家フランク・ロイド・ライト設計で、荒廃の時期を経てヨドコウへ売却され、建替え計画が保存活動によって一転、遂には重要文化財指定を受けるという数奇な運命を辿った経緯も説明された。

**[愛媛県] 城下町に息づく歴史と**

現代的な要素を取り入れた

和の空間

松山市…常信寺庫裡

宇和島市…木屋旅館

県下城下町に残る建物の紹介。常信寺は、松山城の鬼門守護のため、初代藩主松平定行が建てたもの。境内には松平公の霊廟や遺構が残り、凝った作庭も見どころ。庫裡は和室大空間を損なわずに、間接照明で柔らかな演出をしてあり、市民ツアーなどの活用も盛ん。木屋旅館は、明治に宇和島城の堀跡に建てられ、著名な政治家や文豪も宿泊した老舗旅館で、廃業後長く放置されたが、平成に改修再生し、現在は宿泊できる登録文化財として活用されている。

### パネルディスカッション

まずコーディネーターの筒井副委員長がQ&A機能を使った質疑を全参加者へ投げ掛け、即、集計して口火を切った。意見交換では、3年目になるガイドブック作成に伴う活動によって得られたものや活かし方を問うた。

「作成過程の活動で得られたこと」では、見学会の開催などの活用要望を市担当課に伝え、イベント開催に繋がったこと。視点位置に拘る撮影術など、建物の魅力的な見せ方を会得したこと。作庭意図を知ったことなどが挙げられた。

「どう使っているか」では、見学会資料としての利用が多く、近畿ブロック全域の地図に掲載建物をプロットして巡行用に冊子作成している他、オンライン見学会も実施されている。

「業務に活かしているか」では、会得した和風要素をリノベ案件に採り入れたり、意匠的な埋木や古い箱階段を敢えて見せた事例などが紹介された。

遠出がままならぬ状況下、WEB版ガイドブックが「行きたい建物リスト」の道標になれば幸いです。(大森尚子/三重県建築士会)



閉会時のオンライン挨拶

日時…令和3年11月20日(土)

会場…オンライン

参加者…102名



# 景観・街中(空き家)まちづくりセッション

テーマ

## 街中の建物等の維持管理と建て替え等による景観の向上

運営 | 景観まちづくり部会、街中(空き家)まちづくり部会

「景観・街中(空き家)まちづくりセッション」は、連合会・景観および街中(空き家)まちづくり部会主管のもと、東京会場では連合会まちづくり委員、オンラインでは大会主催の広島士会のお手伝いをいただき、コロナ禍において、会場と現地のオンライン構成でうまく開催されました。

### 事例報告

セッションは、街中(空き家)部会長の群馬・高橋康夫氏の司会のもと2部構成で行われ、まず、街中(空き家)部会関連の事例報告として、会場とオンライン各々1例ずつの報告がされました。

口切として、まず東京会場から群馬・前橋工科大学の堤洋樹氏が、「前橋市における住民主導のエリアマネジメント体制構築に向けた取り組み」として、空き家調査で明らかになったエリアマネジメントの重要性について話され、広瀬川河畔エリアを対象に、公共施設の運用改善も視野に入れた住民主導のエリアマネジメントを実現していきたいとのことでした。

次に、オンラインで、奈良の前田晴子氏が、「ただ今、実家空き家活用計画中」と題して、突然空き家の所有者となってしまったご自身のことに加え、信頼できる相談者に巡り合い、歴史を紡ぐ実家再生に取り組んでいる実践が報告されました。

続いて、景観部会関連の事例報告として、会場とオンライン各々1例ずつの報告がされました。

連合会まちづくり委員である静岡の塩見寛氏が、「景観整備機構によるまちづくり活動の実践と検証」として、取り組み事例の一つ、商店街に朽ち果てそうになって残っていた町家「清水次郎長生家」を、景観整備機構が調

査し、所有者にヒアリングし、修復・再生した(2018年国登録有形文化財)事例を取り上げ、景観整備機構としての活動の課題・問題点・展望について語られ、各地の建築士個々の活動が景観活動を継続することに繋がっていると話されました。

最後に、主催県広島からオンラインで甘日市市の二宮理氏が「悠久の歴史と自然が織りなす宮島の世界に誇る景観の保全に向けた取り組み」として、甘日市市の景観計画と宮島口周辺区域の取り組みおよび宮島区域の取り組みを話され、特に世界文化遺産「厳島神社とその後背地」を中心とし、宮島町伝統建造物群保存地区を文化財として捉えて町並み保全とともに復元誘導を図っている旨、事例報告がされました。

### パネルディスカッション

休憩を挟み、後半はシンポジウムが行われ、景観まちづくり部会長の熊本・豊永信博氏がコーディネーターを、兵庫・森崎輝行まちづくり委員長がコメントーターを務め、前半の事例報告者4名の方々をパネラーとして、東京会場とオンライン先とを結び、「空き家、リノベーション等と景観の関連性」をテーマに発表事例を掘り下げる形で活発な意見交換が行われました。

その中で、エリアマネジメントの議論、景観整備計画を具体化していく上での空き家等の課題、建築士とこれらの問題との関わり、連合会の各部会と現場のまちづくりの関係、その中での建築士の役割等が真摯に討論され、今回の秋田大会へ向けての課題も見えた中、コロナ禍ではありましたが、盛会に行われました。

(高橋康夫/連合会・街中(空き家)部会長)

(豊永信博/連合会・景観まちづくり部会長)



景観・街中(空き家)まちづくりセッション風景



「前橋市における住民主導のエリアマネジメント体制構築に向けた取り組み」(群馬県)より



「景観整備機構によるまちづくり活動の実践と検証」(静岡県)より



「悠久の歴史と自然が織りなす宮島の世界に誇る景観の保全に向けた取り組み」(広島県)より

日時…令和3年11月20日(土)

会場…浜松町コンベンションホール6F  
会議室1

参加者…82名

## 福祉まちづくりセッション

テーマ

# コロナ禍から見えてきた福祉まちづくり活動の姿

運営 | 福祉まちづくり部会

コロナ感染防止のため会場参加とWEB参加という初めての試みでのセッションとなりました。会場参加は首都圏の福祉まちづくり部会メンバー（東京・川口孝男、神奈川・松田典子、千葉・岡田博美、埼玉・本多健、群馬・城田幸子）と連合会まちづくり委員会の清水耕一郎副委員長の7名で、オブザーバー・運営協力者として岐阜・下川滝美、京都・村松徹也、徳島・高瀬善郎、広島・平川英二の各氏にもWEBで参加していただきました。

### 全国の福祉まちづくり活動報告

最初に会場からとZoomにより、各建築士会の活動報告をしていただきました。沖縄・筒井昌美、岐阜・桂川麻里、新潟・佐藤由香子、千葉・岡田博美、神奈川・松田典子、徳島・河村勝、宮崎・岩浦厚信、奈良・寺岡春恵、三重・田中文代、群馬・城田幸子、愛知・石井隆司、以上11士会の活動報告がされましたが、各士会のメンバーと力を合わせ、継続した活発な活動をされており、全国の皆さまにも知っていただきたいと思えます。詳しい報告内容は連合会HP「セッション資料集」で見ることができますので是非ご覧いただければと思います。

### Zoomを活用した活動について

続いて、今回のテーマである、コロナ禍から見えてきた福祉まちづくり活動についての討論に入りました。コロナ禍による活動への影響はたいへん大きいですが、各地から届いた活動を見ていて共通しているのが、Zoomを活用した研修会の開催、情報交換、交流などの活動でした。大勢で集まることが難しいだけに、小規模な会場参加とWEB参加を合わせて実施した

り、同時にオンラインセミナーとして県外の建築士会に呼びかけての合同研修（神奈川、沖縄、新潟、岐阜等）などが行われていることにも注目です。参加しやすい夜間や休日に、自宅や各事務所などで参加できることは選択の幅を広げたと思えますし、何気ない談話やZoom飲み会など、楽しい様子も聞こえてきます。ここでポイントになるのがZoom等の契約・設定・操作・指導のできる人の存在で、それにより展開が大きく変わってきます。

### 国土交通省『高齢期の住まいの改修ガイドライン』について

福祉まちづくり部会では、高齢者の住まいづくりとバリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりの2本柱で活動していますが、前者において、最近の話題として、国土交通省の『高齢期の住まいの改修ガイドライン』に関する研修を受けた方（岐阜・群馬・他）から、この研修はこれまでの活動の延長上にあり、福祉まちづくり部会の皆さんで受講する意義があるとの報告を受け、連合会を通じ、国や関係団体に受講に向けての協力依頼をしていただくよう、お願いしようということになりました。

報告…その後、近角会長や連合会の方の働きかけにより、高齢者住宅協会の『住まいの提案力UP講座』入門編・応用編を受講する方向となり（第1回3月1日予定）、受講後はその活用法などについて協議していくようになりました。

### 今後の活動について

国土交通省のバリアフリー法関係の整備基準や推進の検討委員をされている埼玉士会



福祉まちづくりセッション風景

の本多氏からは、これまでに国からのさまざまな情報提供や、意見聴取、事例紹介などを行っていただけてきましたが、最近、国土交通省の担当者から、福祉まちづくり部会の活動について、説明を求められたり、今後連携して何かできないかなどの検討をされているとことで、皆さんにも期待していただきたいし、各地の活動をしっかりアピールしていただきたいと思えます。

### 福祉まちづくり部会活動の問題点について

各士会で体制をつくり活発に活動している建築士会がある一方、福祉まちづくりの体制がなく、まったく活動をしていない士会もあるわけで、福祉分野の建築士の育成により、全国で地域の町医者的な建築士としての役割を果たせるよう、47地域リーダーの皆さんが互いに刺激を与え合い、目標に向かうことを願います。そのためには、沖縄、千葉・岐阜等のように各士会会長のご理解や後押しも重要かと思うところです。

（中村正則／福祉まちづくり部会長）



Zoomウェビナーの様子

日時…令和3年11月20日（土）

会場…浜松町コンベンションホール6F  
会議室5

参加者…約50名（会場・WEB共）

# 防災まちづくりセッション

テーマ

## 「事前の備え」としての 「建築士会事前防災活動指針」を考える

運営 | 防災まちづくり部会

平成30年3月、防災まちづくり部会では、「事前の備え」として熊本地震における熊本土会を中心に実施した復旧・復興支援活動を整理し、今後予想される大規模地震災害での各士会が事前に取り組むべき防災まちづくり活動として「建築士会事前防災活動指針」をまとめた。その後、平成30年7月の西日本豪雨に始まり令和2年7月豪雨にかけて、地震以外に毎年のように各地で発災している風水害に対して、連合会では「災害対策特別委員会(令和3年度専門委員会として災害対策委員会に変更)」を令和2年度に設置し、従来の地震災害対応の指針に風水害対策も加えた「建築士会事前防災活動指針(以下「指針」という)」の策定を行った。セッションの最大の目的は、連合会のHPに掲載されている「指針」の存在とともにその内容を多くの士会会員に周知すること。さらに、被災士会の活動報告を通して日頃の防災まちづくり活動としての「事前の備え」の大切さと「指針」の役割を理解することで、各士会における継続したまちづくり活動への「きっかけ」にすることであった。

St1・2では、部会長からセッションの主旨説明とともに、令和2、3年度の防災まちづくり部会の行動計画について説明した。続いて、各県の建築士会と行政機関との協定状況等を把握するために、アンケートを実施した結果と傾向について、まちづくり委員の岸武氏から報告を行った。

St3では、最初に「指針」の策定を担当した災害対策委員会から、構成と使い方についての説明を行った。特に、被災地復旧ロードマップ[図1]に示すように、被災地士会が、発災から復旧復興までのプロセスにおいて、必要とされる災害支援活動の内容とともに、発災後迅速な支援活動を担保するため平常時から取り組み

が必要な「事前の備え(事前防災活動)」の内容や自治体との連携の「きっかけ」となる活動方法について、「指針」序章の事前防災活動の基本を中心に説明を行った。

次に、風水害による2つの被災士会から復旧支援活動報告を行った。まず、令和2年7月豪雨によって被害を受けた、熊本土会の廣田氏からは、平成29年に被災した熊本地震の経験とその後の事前防災活動によって、風水害の発生から6日後に災害復旧支援対策本部を設置して①被災家屋片付け支援班、②電話相談、現地相談支援班、③歴史的建造物被害調査支援班、④住家被害認定調査支援班の4つの支援班とともに行政や建築関連団体との連絡調整を実施したこと等が報告された[図2]。また、平成30年7月西日本豪雨によって大きな被害を受けた真備地区を持つ岡山士会倉敷支部の渡辺氏から、発災から3年経過しての課題と今後の対策について、多くの貴重な経験と課題の報告をしてもらった。特に被災経験を基に、平成2年に倉敷支部が作成した『水害に備えて』は、地域住民や建築士にも参考になるマニュアルになっている[図3]。

St4では、St3で報告された「指針」の内容や2つの事例報告についての質疑応答を行った。「指針」の各士会への周知とともに各士会員の周知も兼ねた講習会の開催を進めるべきとの意見が出された。また、連合会と各士会の基本的な問題であるが、まちづくり部会数が多いために各士会では人材不足と情報共有不足が課題であるとの意見も出された。

最後に、建築士は「建築を通して人の命と暮らしを守る」基本的役割から、ひとたび災害が発生すると、人々の普段の暮らしが崩壊する。その普段の暮らしを再生させるのも、私たち建築士の役割である。そこで「指針」に示された被災

時における復興支援活動を担保する「事前の備え(事前防災活動)」の必要性を理解した上で、まずは「事前の備え」の中で比較的取り組みが簡単な活動から「普段付き合い(防災まちづくり活動)」として始めてみるのが重要であるとの認識を参加者で共有してセッションを終了した。

(佐藤幸好/防災まちづくり部会長)

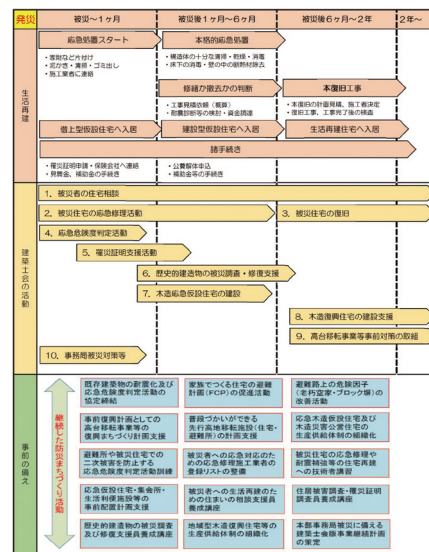


図1 被災地復旧ロードマップ

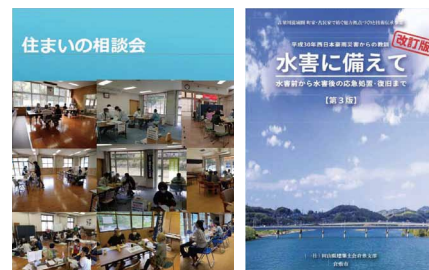


図2(左) 球磨川流域各地で実施した相談会  
図3(右) 倉敷支部作成の冊子

日時…令和3年11月20日(土)  
会場…浜松町コンベンションホール 6F  
会議室6  
参加者…55名

# 歴史まちづくりセッション／ 第8回全国ヘリテージマネージャー大会

テーマ

## 歴史的建造物とまちづくり

広島県内の重伝建4地区を事例に

運営 | 歴史まちづくり部会、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会

歴史まちづくりセッションと全国ヘリテージマネージャー (HM) 大会の共同開催となる本セッションは、東京と広島の2つの会場をオンラインでつなぎ、両会場の発表者と会場参加者、WEB参加者らが画面を通してディスカッションを行うという形式で開催された。

東京会場から後藤治全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会 (HMN協議会) 運営委員長の開会挨拶、部会長の趣旨説明に引き続き、広島会場に集まったコーディネーターの藤田盟児奈良女子大学教授と、広島県内の重要伝統的建造物群保存地区 (重伝建) 4地区のパネリストによるパネルディスカッションが開始された。司会はHMN協議会の内田美知留副委員長 (東京) と広島士会ヘリテージ委員会の濱井義樹委員長 (広島) が務め、オンラインの大会という制約の中で、会場と参加者の一体感と広島大会らしさを演出した。

### 事例報告

**[竹原市] 「竹原地区 (製塩町) 重伝建地区の概要とまちづくり」** 井上顕良氏 (広島県ヘリテージ協議会 / 竹原市総務企画部総務課)、新潟豊氏 (竹原市教育委員会文化生涯学習課) 1978年伝建調査、1982年重伝建選定、2019年日本遺産認定。保存・活用・普及啓発の3本柱の取組のうち、活用では「たけはら竹灯り」などの伝統行事やイベント、普及啓発では伝統的建造物の保存修理現場でのワークショップ「ちびっ子大工さん」などを紹介。

**[呉市] 「豊町御手洗 (港町) 重伝建地区の概要とまちづくり」** 里田謙一氏 (広島県ヘリテージ協議会 / 呉市文化スポーツ部文化振興課) 1990年町並み調査開始、1994年重伝建選定、2018年日本遺産認定。空き家の増加が大きな

課題であり、空き家のリノベーションによる伝統的建造物の活用事例 (ギャラリー、喫茶店、宿泊施設等) や、住民有志の保存会による「町屋に一輪挿し活動」などを紹介。

**[福山市] 「鞆町 (港町) 重伝建地区の概要とまちづくり」** 奥家彰一氏 (広島県ヘリテージ協議会 / 福山市文化観光振興部文化振興課)

1975年文化庁調査補助対象地域に選定、2017年重伝建選定、2018年日本遺産認定。県道バイパスの埋立架橋計画中止の後、地域住民とワークショップを開催しながらまちづくりビジョンを策定。地域と行政が協力しながらまちづくりを進めていくこととなった。

**[廿日市市] 「宮島町 (門前町) 重伝建地区の概要とまちづくり」** 清水俊文氏 (広島県ヘリテージ協議会 / 廿日市市経営企画部宮島まちづくり企画室)

世界文化遺産厳島神社の門前町。2021年重伝建選定。建築士が中心となった「研究会」、工務店の会、地元住民等による「親しむ会」の3つの町並み保存活動団体が発足。まちづくりの相談窓口や移住・定住のマッチングを行う島づくり組織の組成も今後予定。

### 意見交換

4地区はいずれも港町であるが向かっている方向が少しずつ違う、とコーディネーターが各地区の特色を整理。住民の高齢化、空き家の増加とまちづくりとの関係では、空き家バンクや住民ガイドの充実のほか、宮島の3つの活動団体の事例から、建築士、工務店、住民の3者の役割が歴史的まちを維持していくために必要と指摘した。WEB参加者からの質問は大橋智子歴史まちづくり部会委員が紹介し、



コーディネーターとパネリストの方々

建築士に限らず自治体の担当者、施工業者等に広くHM講習を受けていただき意識を共有化することが有効とされたほか、保存地区の活用方法や課題に関しては、住民の暮らしを守る視点も重要と各パネリストが指摘した。住んでいるまちを愛する気持ち、誇りに思う気持ちが形成されて、はじめて歴史的なまちが持続され、未来へのまちづくりが見えてくるとコーディネーターがまとめた。最後に、HMN協議会の中西重裕副委員長が、全国各地のHMがしっかり地域の課題に取り組んでまちづくりを進めていくことを今後の展望として総括し、セッションを終了した。

(青木伊知郎 / 歴史まちづくり部会長)



東京会場風景



広島会場風景

日時…令和3年11月20日 (土)

会場…浜松町コンベンションホール5F 大ホールB / 広島県情報プラザ2F 視聴覚室

参加者…165名 (WEBおよび現地参加者の合計)

# 「木の建築」「木のまちづくり」シンポジウム

テーマ

## 今求められる木の建築・木の活動とは

パネリスト…安藤邦廣 | 株式会社里山建築研究所 主宰  
三澤文子 | 有限会社エムズ建築設計事務所 代表  
泉 幸甫 | 有限会社泉幸甫建築研究所 代表  
杉本洋文 | 株式会社計画・環境計画 代表  
パネリスト・講演…内田文雄 | 株式会社龍環境計画 代表  
司会…山崎健治 | 有限会社こころ木造建築研究所 代表



シンポジウム風景

### 木の建築賞の創設について

まず初めに、木の建築賞の説明として、初代選考委員長を務めた安藤氏より大会の意味と特徴について説明が行われた。「木の建築賞」は、全国を7地区に分け、「いま、求められる木の建築・活動とは」という呼びかけに、森林・木材・建築にかかわる全国の実践者が応募し、その中から、優秀な建築・活動を顕彰するものです。地域の資源を活かした成果を発表するといった活気ある場である「木の建築賞」の、意義や魅力をお伝えしたいと思います。

### 第15回木の建築大賞受賞作品発表

#### 「茂木町まちなか文化交流館 ふみの森もてぎ」

栃木県の東南部に位置する茂木町は、町域の約60%を森林が占め、里山と田園がふささとの原風景を織り成し、市街地は中世の城下から続く歴史豊かな町である。その中心部に約300年続いた酒造蔵元の跡地などを敷地として、図書館、歴史資料展示室、研修・交流室、ギャラリー、カフェを併設した複合施設「茂木町まちなか文化交流館 ふみの森もてぎ」を整備した。

図書館の主要部分は木造建築とし、屋根架構にはアーチとカテナリー（懸垂線）の組み合わせによる、連接サスペンダー構造を採用し、スパン16.2mの無柱の大空間を確保している。町として初めて設置した正式な図書館であり、だれでも気軽に訪れて図書館資料との出会いを楽しめるように資料の分類と配架に独自の工夫を凝らしているほか、展示部門と連携してテーマ毎のコーナーを用意している。また、未来を担う子どもたちの空間として子ども図書室やキッズルームの整備と充実を図っている。

### パネルディスカッション——木の建築賞の活動の振り返りとこれからの展望

三澤氏…2004年から始まった木の建築賞は今年度で第16回を終え、日本全国の地域を回ってきました。大会当初は住宅作品の応募が多く集まりましたが、大会を重ねるにつれ保育施設や公共施設などの中大規模の木造建築作品が増えてきました。木材調達に関しても意識が高まり、近年は木材のトレサビリティについても設計者が把握している作品が増えました。木造建築は単に作品性の評価だけでなく、木材調達をはじめ、建築全体の活動として評価していくことが大切だと感じています。

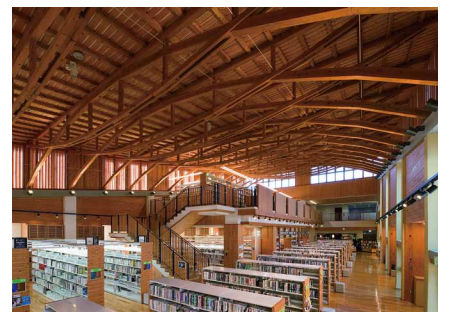
泉氏…木造建築の設計は、机の上でなく現場と深く関わっていかなくてはならない。木材調達や管理、職人との関わり合いなど、今まで以上に熱意をもって取り組まないといけないと感じます。地域に対する愛や熱意、作品に対する深い考えをもって取り組んでいる方との出会いを通して、これからの建築設計の中でとても必要なことだと思います。また、デザイン面においても伝統的な技術と新しい技術との関係にも注目しています。

杉本氏…選考委員でもあり時には応募者としての経験から、地域の材料と地域の技術の再構築が大切だと感じています。木の建築賞は地域ごとの開催ということでその特徴がはっきりと出た作品が多く、地域の歴史や文化と重ねてつくり上げている作品に出会い感銘を受けました。また、木造建築は素材からの発想が大切になる分、今後は素材＝森を育てる意識も高く持ってもらいたいと考えています。

内田氏…木造建築が多方面に広がる中で、木と環境が繋がっていることを強く意識して

建築を考えて行くことが大切だと感じています。その意識の大切さを木の建築賞を通じて応募者に問いかけ、また広げていって欲しいと思います。

安藤氏…木の建築賞は木の建築道場だと思います。決着をつけると言うよりは、他の作品を見て自分を磨く道場。大会当初は木造好きの偏った応募者が多かったと思いますが、近年はゼネコン設計部や大きな組織事務所なども応募しています。熟練の設計者と若手設計者、ノウハウや知識の違いが大きいように見えて木造建築となると、じつは若手に軍配が上がったりすることもあります。応募者が皆フラットで議論し、そういう場を設けていくことが木の建築賞の使命としてあると思います。今年から木の建築賞は建築士会連合会との共催で行われます。お互い新しい道へのステップとして広がりをくっつけたいと思います。（山崎健治）



茂木町まちなか文化交流館 ふみの森もてぎ

日時…令和3年11月20日(土)

会場…浜松町コンベンションホール6F  
大会議室A

参加者…84名

## 環境部会セッション

テーマ

# SDGsと 環境・まちづくり part2

## 地域共生による持続可能な建築・まちづくり

運営 | 環境部会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 17のゴール

2019年函館大会のPART1に続き2021年のPART2はサステイナブルな17の開発目標に関連する建築士の役割と活動について先進事例の紹介と討議を林美樹氏の司会で進めた。

開催の挨拶では環境部会長の中村勉氏より、建築士のSDGsの取り組みの方向性を個人の気配り、グループでの協力、仕事での関与、建築士会での活動の側面から2021年SDGsセッションへの期待として文化を大切にす社会、分かち合いのコミュニティ、緑のあるワーケーションを目標にしたいという発言であった。

その後先進的に取り組んでいる5つの単位建築士会・支部からの話題提供では、「何でSDGsに取り組むのか」「どう貢献するのか」という共通の話題のもと報告が行われた。

### 福井県建築士会「SDGs推進宣言」 横山義博氏(福井県建築士会会長)

福井県建築士会は単位建築士会の中でただ一つ「SDGs推進宣言」を宣言している。宣言までの経過と宣言の内容について建築士会会員のSDGs実現に寄与する研究・創意工夫の実施、SDGsに沿った(一社)福井県建築士会の事業の実施。今後の展開では会員相互の情報交換、建築士会事業のSDGsの位置づけの明確化と公表、県の「ふくいSDGsパートナー」への参画についての報告であった。

### 「つくばSDGsパートナーズ」

松田祐光氏(茨城県建築士会筑波支部副支部長)

つくば市はSDGs未来都市に認定され、SDGsパートナーを開始。支部では2020年SDGs委員会発足。持続性ある支部運用、消費者に質の高い技術・情報を提供し、地域の活性化等にも貢献するという考えのもと、活動を行っている。川下から川上を育てて、伐って、使う「山林

の循環」が防災につながる「ものづくり(流通)」を考える森林+SDGsの紹介があった。

### 「京都でのSDGsアクション」 高田光雄氏(京都市建築士会会長)

京都議定書からスタートしたさまざまな取り組みがあり、2010年からの「平成の京町家」では京都市・建築士会・大学が共同で京町家の伝統的生活文化の継承・発展と低炭素化の同時的実現に向けての活動内容。「木の文化を育む建築・まちづくりの推進」のミッションについて環境と文化の止揚を軸として進め、SDGsの取り組みも女性部会で連続講座として進められつつ、SDGsの第18ゴールとして「文化的持続可能性」の重要性が報告された。

### 「大阪でのSDGsアクション」 岡本森廣氏(大阪府建築士会会長)

平成28年「建設関連産業の課題と将来展望～市民の身近な課題に寄り添う質の確保～」で今後の社会・市民社会および経済社会のめざす指標にSDGsが最重要となることを述べ活動を行っている。4年後は全国大会と大阪万博が開催される状況の中で大阪府建築士会としてのSDGsの活動方針を策定すること、合わせて近畿の建築士会6団体はSDGsを掲げて行動することを決めたこと紹介があった。

### 「真庭SDGsパートナー宣言書」

桐山博行氏(岡山県建築士会真庭支部)

西日本有数の木材集散地域である真庭市は2018年度SDGs未来都市+モデル事業に採択され、市民や企業・団体に対して「真庭SDGsパートナー制度」を設けた。真庭支部は趣旨に賛同し登録。活動では研修会等の開催、自然を肌で感じて木でつくる楽しさの体

験としてツリーハウスの製作・木工教室などの報告であった。

以上の後に、連合会環境部会の糸長浩司氏より2021年8月に行った単位建築士会会長へのアンケート結果について、20件(回答率40%)と低く、SDGsへの意識は西高東低の傾向があるが、連合会でのSDGs方針作成への期待も上がっていることの説明があり、かつ日本建築学会は2021年3月に「日本建築学会SDGs宣言」を発信したことを報告し、建築系学協会とのSDGs連携の必要性を指摘した。

討議では糸長氏のコーディネーターのもと、パネリスト+中村勉氏でSDGsの実現のために地域独自に取り組むべき持続可能な建築・まちづくりの方向性とアクションについての議論とともに、SDGsにおいて地域の歴史、風土を生かして定常社会を創りあげる方式を探し、その中にもものづくり力、発信力を高める試みがいくつかの自治体で生まれていることの確認と、自治体とともに今後の各地の単位士会の会員が地域の温暖化対策と人口縮減社会への対応にどのように力を尽くすことができるか、さらに連合会としてのSDGs方針づくりの必要性が指摘され充実した意見交換が行われ、篠節子が討議の意義をまとめた。(篠節子/環境部会 副部会長)



環境部会セッション風景

日時…令和3年11月20日(土)

会場…浜松町コンベンションホール6F  
会議室2

参加者…57名

## 情報部会セッション

テーマ

# BIM 初心者講習

運営 | 情報部会



情報部会セッション風景

情報部会では、これまでと同様に「新しいさまざまな情報技術・設備機器類」と「建築士業務」との関わり方を模索していくことを引き続きテーマとして根幹に置き、広島大会においては「ドローンを用いた各情報収集技術と建築士業務での活用法」について、すでにドローンを業務に活用されています岡山県建築士会の中村氏に講師をお願いし、実際に現場でドローンを飛ばしてその活用方法をライブで確認できるような内容で準備を進めておりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大のおおりの受け、広島現地での大会開催の中止、東京でのリモート開催という開催方法の変更に伴い、ドローンを飛ばすことが難しくなり、セッション内容の変更を余儀なくされました。大会期日まで非常にタイトなスケジュールの中、新たに一からセッション内容を作り上げていくには時間が足りず中途半端な内容のものになってしまいかねない、と判断し、情報部会の「事業の一つ」としてすでに一度開催し実績を残していた「BIM 初心者講習」をここでもう一度開催することとなりました。

内容としましては、すでにBIMを導入し業務に活用されている会員の方たちから「導入のきっかけ」や「導入したことによって、業務にどのようなメリットが生まれたか」等の実際の体験談をお話いただき、続いてBIMソフト4ベンダーさんから、それぞれのソフトの特徴等につ

いて説明をしていただきました。

今回の講習はこれを聴いて終わり、ではなく、「各BIMソフトを実際に動かしてみる」ことに主眼を置いており、申し込みさえすれば、動画とテキストを使って実際に「設計図がつくれる」ようになっています。また、講習では「共通のモデルプラン」を提供していますので、各ソフトによる操作感の違いや個々の環境にあったソフトを自分自身で選択できるようになっています。

昨年9月に開催した「BIM 初心者講習会」のガイダンスとして実施した「スタートアップセミナー」の際には、723名の方々に視聴いただき、その後の「BIM 初心者講習会」（各章ごとに分けて作成された4社のBIMソフトの操作動画視

聴・テキスト・テンプレート等の活用)にもすでに872名の方々が参加されています。今回、広島大会で改めて初心者講習を開催させていただき、さらに多くの方々にBIMに興味を持っていただき、実務講習に参加いただくことを切に願ってやみません。

最後に、今講習の開催に当たってご協力いただきました各ベンダー様、サポート建築士の皆様、アンケートにご協力いただきました皆様、さらにはセッションにご協力、ご参加下さいました皆様に感謝申し上げます。今講習が会員皆様のBIM導入のきっかけの一翼を担ってくれば幸いです。 (渡邊 清/情報部会)

(公社) 日本建築士会連合会BIMポータルサイト

BIM初心者セミナーの申込み～動画閲覧まで    BIMソフトウェアについて    お問い合わせ

---

BIM初心者講習会   ログインページ   ログイン

**BIM初心者講習（テキスト、動画）に申込む**

令和3年9月より、BIMの操作方法を学ぶテキストと動画を公開しています。申込みには申込み専用サイトに登録が必要です(建築士会会員限定となります)。登録がぜひお申し込みください。

Read more

**BIM初心者講習の申込みについて (WEBで解説)**

同じ木造2階建て住宅をArchicad, Revit, GLOOBE, VectorworksのBIMソフトでモデリングし作図するプロセスとテキストと動画で学ぶことができます。受講には登録が必要です。(建築士会員のみ対象)

Read more

**テキストで紹介したBIMソフトの製品概要**

アーランドエー、オートデスク、グラフィソフト、福井コンピュータアーキテクトの製品概要、動作環境、製品体験版へのリンクを紹介しています。また、BIMを活用している会員建築士をご紹介します。

Read more

**BIM初心者講習会フォローアップ・ウィーク開催のご案内**

令和4年2月14日(月)～2月18日(金) BIM初心者講習会のフォローアップイベントを開催します。14日はシンポジウム、15、16日はVectorworks & Archicad Day、17、18日はGloobe & Revit Dayとなります。

Read more

(公社)日本建築士会連合会BIMポータルサイト

日時…令和3年11月20日(土)

会場…浜松町コンベンションホール6F  
会議室4

# 表彰者のご紹介

## 令和2年度 連合会会長表彰

士会名	氏名	氏名	氏名
青森	野呂秀明	渡辺孝太郎	竹内昭三
岩手	岩間正行	鷹薮紅子	佐々木 保
宮城	齋藤善昭		
秋田	泉谷昭一		
山形	石井 徹	長堀 聡	
福島	藤田正治	佐久間保一	佐川 斉
茨城	木村千明	諸川博幸	稲葉光夫
栃木	富樫 修	岩上 亨	酒井 誠
群馬	佐藤昌子	河島克樹	塚本敏博
埼玉	近内茂雄	須賀繁松	
千葉	秋元卓哉	成瀬 孝	秋田幸一
東京	野崎淑子 山本 覚 吉村昌朋	生田目 裕 森田雄太郎	渡邊定夫 石川智章
神奈川	小菅邦夫 内山勝麗	三浦孝昭	池谷 透
山梨	伊藤吉夫	前島治文	長田正彦
長野	岩原 忍 吉原 功	松本茂男	北村洋子
新潟	石川一夫	増田 豊	矢部良男
静岡	水上茂樹		
愛知	浅井裕雄 武藤康正	池田雅幸 吉田英樹	岩瀬計介
岐阜	高橋秀一	大石佳知	小川泰弘
三重	宮崎重則	岡野文生	
富山	高道一栄	中谷元秋	杉本隆一
石川	岡田浩之	熊田康也	本田正敏
福井	横山義博	佐々木忠彦	
滋賀	古川政博		
京都	小幡真次	小嶋 隆	齋藤忠司
大阪	相原康隆 上田仁美	曾我部千鶴美	松村和吉
兵庫	西嶋宣久	佐々木博司	杉本雅子
奈良	森田恭司	本保万貴子	
鳥取	松本昭弘	讃岐英夫	
島根	湯浅健一	村上修二	今明稔英
岡山	石原彰二	磯野英史	
広島	細見 恵	神岡千春	井手口耕三
山口	藤井幸明	原田頼邦	松原暁宏
徳島	川島正浩	岸田徳明	高田哲生
香川	大西秀行	曾根昭一	土田 実
愛媛	菅野隆次	谷川三郎	井出 直
高知	後藤孝一	米林利雄	
福岡	荒木祐徳 矢富英明	井上 聡	藤木博文
佐賀	西原 守		
長崎	野澤正雄	川崎敏裕	貞苺恒広
大分	穴井輔嘉	中園幸治	尾方秀則
鹿児島	諏訪下 勉	田代昌弘	中村重昭

## 令和2年度 伝統的技能者表彰

士会名	氏名	士会名	氏名
北海道	工藤泰博	岩手	猪狩琢二
秋田	高橋喜志治	山形	森 敏夫
栃木	白井健次	群馬	後藤重成 (重榮成琳)
千葉	片桐 誠	神奈川	木村敏長
新潟	大桃 実	愛知	大岩萬次
富山	山田隆一	石川	小阪広行
京都	大塚祐司	大阪	砂田憲良
兵庫	江戸 保	鳥取	北村昭人
香川	野崎正明	愛媛	菊地陽一郎
高知	藤岡正男	長崎	永峯主税
大分	森 力	鹿児島	玉島裕一

## 令和3年度 連合会会長表彰

士会名	氏名	氏名	氏名
北海道	鈴木 徹 山内一男	北村 啓 室井正行	大宮敦男
青森	西澤祐子	山口 聡	平内進勝
岩手	高橋誠作	茅森吉則	千田敏夫
秋田	田中教雄	櫻庭星治	
山形	矢萩浩次	金田 巖	
福島	山野邊龍介	佐賀幹雄	小谷津和矢
茨城	滑川浩一	加藤繁治	家富秀一
栃木	藤田晴司	堀江節子	岡田豊子
群馬	坂口 武	大久保 守	日里早知子
埼玉	池田尚司	折原 勉	
千葉	笠西桂一	椎名義信	金光朝子
東京	青木伊知郎 横田 敦 山崎裕史	中野晶子 町田瑞穂 <small>ドロテア</small>	根上彰生 宮城秋治
神奈川	宇土喜久夫 梅澤典雄	小川嘉一	東 二郎
山梨	佐野正秀	藤田義治	松浦芳恵
新潟	岩崎隆寿	室岡耕次	杉田康一
愛知	岡島直樹 杉浦幸夫	河原雅己 塚本正二	米谷雅弘
岐阜	橋田 勲	大野二郎	
三重	山川退三	倉世古真人	
富山	川合光行	根塚三起生	水上利明
石川	畝本秀一	宇枝敏夫	小林吉則
福井	森川清和		
滋賀	菊川太嗣		
京都	板倉 昇	岡本章良	岩田信一
大阪	沼田 亘 岩岸克浩	仙入 洋	平井浩之
兵庫	岡崎雅彦	前川象二郎	西垣善夫
奈良	徳本雅代	嵩山雅由	
和歌山	柳川廣美	藪下昌宏	畠中みか
鳥取	大北美知枝	遠藤 学	
島根	森本恭史	塩野裕士	板持潤一
広島	二井義博	中野敏己	竹中哲成
山口	下村成巳	瀬戸孝博	
徳島	中岡高志	泉 恭宏	石井哲夫
香川	金本一成	後藤哲夫	神余智夫



令和3年度 伝統的技能者表彰

士会名	氏名		
愛媛	大西勝秀	神田孝一	大西直子
高知	岡崎泰弘	岡村卓治	
福岡	池田友三	岡 秀昭	中島孝行
佐賀	小島 啓	平野直人	
長崎	出上正寿	松川昌夫	木場耕志
熊本	甲斐勝三		
大分	佐藤敏孝	佐藤富士雄	工家一彦
宮崎	矢野公一		
鹿児島	松井謙太郎	城下芳和	川原克郎

士会名	氏名	士会名	氏名
秋田	鈴木武夫	山形	長谷川静夫
茨城	皆川昭雄	栃木	岡 英男
群馬	小野康博	千葉	高木祥光
東京	山崎健二	神奈川	大島隆司
新潟	戸田保美	愛知	岩瀬幸博
富山	下島達雄	石川	山城久明
京都	松田 聖	大阪	鳥羽瀬公二
兵庫	中石八郎	奈良	森井善弘
鳥取	多林 修	島根	原田貞治
広島	徳岡秋雄	愛媛	濱田成一
長崎	小林長一郎	大分	板井秀之
鹿児島	山之内浩二		



連合会会長表彰・櫻庭星治様



伝統的技能者表彰・徳岡秋雄様



建築作品賞表彰・西口賢様

第1回 建築作品賞

1-1 居住・生活空間系の建物			作品名
大賞/優秀賞	設計者	西口 賢(愛知建築士会)	大地の家
奨励賞	設計者	武保 学(三重県建築士会)	two house 92歳と2歳と暮らす
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	下吹越武人(東京建築士会) 佐藤 淳(東京建築士会)	K2 house
奨励賞/U40建築賞	筆頭設計者 共同設計者	落合正行(東京建築士会) 杉本将平(東京建築士会)	上池台の住宅 いけのうえのスタンド
1-2 商業・業務・交通系の建物/1-4 その他			作品名
優秀賞	筆頭設計者 共同設計者	高橋秀通(東京建築士会)、石原政幸(東京建築士会) 大庭拓也(東京建築士会)、高橋恵多(東京建築士会) 長嶺 博(千葉県建築士会)、石川慎一郎(東京建築士会)	有明体操競技場
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	赤松佳珠子(東京建築士会) 岸 尚志(東京建築士会)	アストラムライン新白鳥駅
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	井坂幸恵(東京建築士会) 田邊雄之(東京建築士会)、佐藤 淳(東京建築士会) 大塚悠太(東京建築士会)	コロナ電気 新社屋工場1+2期
1-3 教育・文化・福祉系の建物			作品名
優秀賞	筆頭設計者 共同設計者	青木 淳(東京建築士会) 西澤徹夫(東京建築士会)、森本貞一(大阪府建築士会) 久保 岳(大阪府建築士会)	京都市美術館
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	水越英一郎(東京建築士会) 篠崎亮平(東京建築士会)、宮崎俊亮(東京建築士会)	早稲田大学37号館 早稲田アリーナ
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	出口 亮(東京建築士会) 麻田北斗(東京建築士会)	TSURUMIこどもホスピス
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	八里直輝(東京建築士会)、加藤 亨(東京建築士会) 高野勝也(東京建築士会)、河野利幸(東京建築士会) 浦波寛弥(東京建築士会)	東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス
U40建築賞	筆頭設計者 共同設計者	石原嘉人(東京建築士会) 萩原裕加(東京建築士会)	東京藝術大学 国際芸術リソースセンター(IRCA)
2 リノベーション			作品名
優秀賞	設計者	西川英治(石川県建築士会)	輪島 KABULET
奨励賞	設計者	中西ひろむ(大阪府建築士会)	COCONOアートプレイス (大野市古民家ギャラリー)

# 支部の見どころ紹介

公益社団法人 広島県建築士会 会長  
井本 健一

広島県建築士会は7つの地域活動団体(支部)の会員により構成されています。ここでは各地域の持つ魅力の一端を各支部よりご紹介させていただきます。広島県は、北部は中国山地、南は瀬戸内海に面し、レジャーもスキーからマリンスポーツ、釣りまで多彩で、どの都市からも短時間でアクセスが可能です。又、プロスポーツも広島東洋カープ、J1のサンフレッチェ広島、バスケの広島ドラゴンフライズが県民の団結を盛り上げ、今年は女子サッカーのサンフレッチェ広島レジーナも誕生いたしました。今回はささやかですが紙面にて広島をお楽しみいただき、やはり広島に行ってみたいと思っていただければ幸いです。

- ① 瀬戸内醸造所
- ② 広島市中心部
- ③ 尾道の老舗旅館
- ④ 福山城
- ⑤ 西条の酒造施設群
- ⑥ たけはら町並み保存地区
- ⑦ ヤマトロックマシン施設群
- ⑧ 帝釈峡
- ⑨ 奥田元宋・小由女美術館、  
三次ワイナリー、トレッタみよし
- ⑩ ものけミュージアム
- ⑪ 神楽門前湯治村
- ⑫ 呉YWCA



三原支部

瀬戸内海を借景して暮らす町 三原市須波



三原市  
須波

庭園外の山や森林などの自然物をも背景の構成要素として、景観を形成する「借景」。

瀬戸内海のほぼ中央、広島県南部の静穏な海域を有する三原市には、日々の暮らしのなかに山と海そして島々がある。

なかでも沿岸部の「須波」エリアでは、瀬戸内海国立公園・筆影山を背に、瀬戸内海随一と評される多島美を臨む。須波の山肌に住つ住宅たちはその窓枠に海景を映し、住人はごく自然に瀬戸内の豊かさを借景し暮らしを営んできた。



瀬戸内醸造所

setouchi winery

須波港のほど近く、造船所跡地に建つ「瀬戸内醸造所」。2階建てのワイナリーに、木造平屋のレストランとワイン直販所を併設した空間だ。ここで造られるワインは、新しさの奥に瀬戸内の風土と歴史を纏う。ワインを通して新たな文化を醸成するワイナリーの魅力を紐解いていこう。

麓の住宅街を自然に隠し、雑草をも植生管理して細部にまでこだわって設計された空間。かつての造船所はこうして、風土、歴史から瀬戸内の恵み全てを巧みに借景し、ワインと食を通じて未来へ繋ぐ空間として生まれ変わった。

建築設計：菅原大輔 / SUGAWARADAIISUKE 建築事務所  
ランドスケープデザイン：石川洋一郎 / TREEFORTE

「感じ方はそれぞれでいいんです。豊かな自然を五感で感じて、自分と向き合う時間を過ごしてもらえたら」

物事の価値が均一化されていくこの時代に、瀬戸内醸造所が紡いでいく物語に想いを馳せて。ゆっくりと流れる時間を、ワインと共に楽しんでいただきたい。

空間設計においては、風景を切り取りその美しさを際立たせる工夫が随所になされている。座る角度によって見える情景の異なるベンチや、瀬戸内の島々を回遊するかのよう設計された庭園を巡ることで、その場所がかつて造船所であった歴史や物語、提供される食材が目前に広がる海からの恵みであることを感じ取ることができる。訪れた各々が、自由にこの空間への関わり方を選ぶのだ。

代表取締役の太田祐也（おおた・ゆうや）氏は、「素晴らしい景色は沢山あるけれど、僕にとってはここが一番。幼い頃に祖父と見ていた瀬戸内の原風景なんです」と話す。太田氏が見てきた「原風景」は、この土地ですっと作られてきたぶどうや、地元食材抜きで語ることはできない。そのため醸造所では、三原、竹原をはじめとする瀬戸内のさまざまなぶどう産地の名を冠したワインを醸造。ぶどうをワインへ加工し、併設されたレストランで地元食材を使った料理とのペアリングを楽しんでもらう。ワイナリーならではの「生産から消費までの持続可能なサイクル」を生み出した。ワインを通じてこの土地の食の豊かさを表現していくことで、瀬戸内の第一次産業を未来へと継承させていく。



「瀬戸内を切り取る窓」を通して、どの席からでも瀬戸内の風景を臨むことができる。



瀬戸内醸造所  
住所：広島県三原市須波西 1-5-26  
TEL：050-3749-9902  
定休日：火曜 / 毎月第3水曜  
駐車場：16台

規格外等の理由で一般に流通しない食材も余すことなく活かした、「この土地でしか味わえない」サステナブルなコース料理を提供するレストランmio。季節ごとに変わるメニューを味わうことができる。

## 広島支部

梶川 彰彦

# 広島特有の文化遺産や憩いの場所を巡ろう

(広島市中心部の魅力ある建築物紹介)

## 1 戦後の建築物初の国指定重要文化財 耐震改修＋リニューアルで魅力アップ

ここに紹介する2棟は原爆被爆後の復興期に建設され、2006年(H18)に戦後の建築物として初めて2棟同時に国の重要文化財に指定されました。その後、2019年(R1)に相次いで耐震改修等の工事を完了したものです。

### 世界平和記念聖堂



**世** 界平和を希求し原爆犠牲者を慰霊する聖堂をこの地に建設する必要性を訴えたドイツ人神父のフーゴ・ラッサール氏が欧米など世界各地に広島の被爆の実情を報告し、義援金を集めて1954年(S29)に竣工。設計者は村野東吾で、RC造地上3階地下1階建て、三廊式バシリカの教会堂。老朽化に伴い耐震補強と保存改修工事を実施し2019年(R1)秋に竣工、建設当初の魅力ある姿が蘇りました。



### 広島平和記念資料館本館



**広** 島平和記念資料館本館は、平和を象徴する公園として建設された平和記念公園のメイン施設として1955年(S30)に竣工・開館。設計者は丹下健三で、RC造2階建て、1階をピロティ形式とした様式はル・コルビジエの思想を強く反映し、同公園のゲートとしても機能しています。2019年(R1)秋に免震改修工事を終えるとともに、被爆の実相が理解しやすい展示構成へと大幅にリニューアルし、安全性の向上と内容の充実を実現しました。



## 2 様々な形で活用される被爆建物

被爆から76年が経過し、広島市内に点在する被爆建物は老朽化により存続が問題となるものも少なくありません。そのような状況下で近年何らかの建築行為がなされた3つの被爆建物の活用事例を紹介します。

### 平和記念公園レストハウス



**増** 田清が設計し1929年(S4)に大正屋呉服店として建設されたRC造地上3階地下1階建ての建物。原爆で一部損壊した建物を補修して使用を継続し、1957年(S32)に広島市が買収してからは戦災復興事務所や市観光協会の事務所等として利用。老朽化による全面改築計画がユネスコ等の反対で凍結。その後、市の被爆70周年(2015年)記念事業として耐震補強と建設当初の外観・内装への復元実施が決定され、その工事を経て2020年(R2)7月にリニューアルオープン。被爆当時の姿を留めた地下室や平和の尊さを伝える展示室等をご覧いただける外、観光案内や休憩スペースも確保しています。



### 旧日本銀行広島支店



**長** 野宇平治が設計し1936年(S11)に建設されたSRC造地上3階地下1階建ての建物。堅牢な造りのため原爆の爆風に耐え、現存する被爆建物の中でも抜群に保存状態が良いとのこと。日本銀行広島支店が1992年(H4)に市内他所に移転した後、広島市が広島平和記念都市建設法の適用による無償譲渡を要望した結果、市の重要文化財指定で無償貸与、国の重要文化財指定で無償譲渡の確約を得ました。これを踏まえ、2000年(H12)に市の重要文化財指定を受け日銀から無償貸与。以後広島市が市民用ギャラリーとして暫定使用しながら、国の重要文化財指定を目指して耐震補強や竣工当時の姿への復元工事を少しずつ進めています。



広島特有の文化遺産と言えば、世界遺産「原爆ドーム」「厳島神社」の二つが代表的存在ですが、その他にも魅力あるものが沢山あります。その中で広島市中心部の文化遺産を取り上げるとともに、併せて広島の個性的な憩いの場所も紹介します。アフターコロナに訪れたい候補地として参考にしていただくと幸いです。

### 3 原爆ドーム・平和記念公園を見渡す 天空の憩いの空間

原爆ドーム背後でドームに敬意を払いつつ驚くほどに変貌した既存業務ビルの事例を紹介します。

#### おりづるタワー

原爆ドームの東に隣接する当建物(写真右側のビル)は、元は1978年(S53)に建設された広島東京海上ビル(S造地上13階地下2階建て)。2010年(H22)に広島マツダが買収した後、三分一博志氏設計で、耐震補強を伴う大規模改修により骨組みだけ残した大幅な改造工事を実施し、2016年(H28)9月に以前とは全く違うイメージのビルへと変貌。12~13階の展望スペースは川風の吹き抜ける気持ち良い空間で、丘状の床に腰掛けて原爆ドームや平和記念公園などを見渡すことができます。他にも折り鶴広場、1階から屋上まで続くスパイラルスロープや滑り台などの仕掛け、カフェ・物産館(1階)などもあり、憩える楽しい空間です。



#### 広島アンデルセン本店

パン等の食品販売で全国展開するアンデルセングループの本店建物。元は1925年(T14)に三井銀行広島支店として建設された長野野平治設計のRC造2階建て。1967年(S42)にタカキベーカリーが買い取り広島アンデルセンとして開店。後に新館増築等を行いつつ利用してきたものの老朽化により全面建替えの方向を選択、旧建物外壁の一部を切り取り建物2階部分に保存、また、竣工当時建物正面にあった列柱の復元等により建替えられ、2020年(R2)8月にリニューアルオープン。新店舗は、RC造5階建てで、食品販売のほか、レストランやパーティ会場も備えており、気軽にご利用いただけます。



### 4 広島発祥「水辺のオープンカフェ」 水の都ひろしまにふさわしい憩いの空間

水辺を使いやすく憩える空間とするため、広島市は国・県や民間事業者と協力して常設による水辺のオープンカフェの仕組みづくりに取り組み、2011年(H23)の全国的な制度化に至るその先駆けとなりました。その活動を継続し、現在も営業を続ける水辺のオープンカフェを紹介します。

#### 元安川オープンカフェ

平和記念公園レストハウス対岸のこの場所で1999年(H11)に官民連携してテイクアウト方式の仮設型店舗を置き、春~秋の季節営業で実験を開始したのが水辺のオープンカフェの始まり。その後、京橋川での成功を受け、この場所に独立店舗を設置すべく事業者を募集・選定し、2008年(H20)に開業したのが現在も営業を続けるカフェ・ポンテ。イタリア料理のお店で、イタリアンな牡蠣料理など広島の食材を生かした料理も提供。川風に吹かれながらオープンデッキで食事するのは気持ち良く、外国人にも人気のスポットです。すぐ側には、世界遺産航路の棧橋があり、最短45分で宮島に行くこともできます。



元安川オープンカフェ



京橋川オープンカフェ

#### 京橋川オープンカフェ

京橋川では、2000年(H12)に川沿いのホテル2件で隣接する河岸緑地を一体的に利用したオープンカフェの運営を始めたのが最初。2004年(H16)に国から河川法の特例措置の適用を受けた社会実験に移行し、下流の河岸緑地において公募で選定した民間事業者に独立店舗3棟(写真)の建設・運営を認めるなど、その数は徐々に増加。本格実施後の現在では8店舗が運営。一般的なカフェのほか、牡蠣料理店やそば屋、タイ料理店、ケーキ屋など様々な飲食を楽しむことができます。水と緑に囲まれた憩いの空間で気持ちの良いひとときをお過ごしください。

## 尾道支部

米田 雅治

# 文人墨客映画人に愛された尾道の老舗旅館に泊まろう

尾道は、「坂の街」「文学の街」「映画の街」として全国的に有名です。林芙美子や志賀直哉などの文学作品や、尾道出身の大林宣彦監督などによる数々の映画作品に尾道が登場します。こうした文学や映画の舞台となった尾道の老舗旅館3軒をご紹介します。



## 1 尾道の老舗旅館 その1

### 竹村家

竹村家は明治35年にアサヒピアホールの看板を掲げた洋食屋として尾道水道に面した防地川河口に創業。当時の様子は志賀直哉の小説「暗夜行路」にも登場。大正9年に建替え、その際に木造二階建て数寄屋造りの料理旅館として再出発し現在に至る。2階にある舞台付の大広間は、折上げ格天井、東南2面開口で、尾道水道を一望できる。客室は網代の舟底天井や竹組の格天井、竹で作った床柱や落し掛けなど竹村家の名前にある「竹」をふんだんに使用し、数寄屋大工の匠の技が見て取れる。平成16年に登録有形文化財に指定。尾道は文学の町としても有名で、先々代の女将さんは林芙美子と尾道高等女学校（現県立尾道東高校）時代の同級生であった。

戦後は小津安二郎監督の「東京物語」のロケ地に使われ、ロケの間、監督と俳優陣が竹村家に宿泊。昭和初期の小津ワールドの世界がここにはそのまま残っている。平成20年には新藤兼人監督の映画「花は散れども」のロケに使われ再び竹村家が銀幕に登場した。



## 2 尾道の老舗旅館 その2

### 魚信

尾道水道に面して建つ割烹旅館「魚信」は、建物が100年以上経っている数寄屋造りの老舗旅館で、昭和25年頃増改築工事を行いこの時3階建てに増築された。内装は細かい細工の施された数寄屋造りで、天井、床柱、内窓など部屋毎に趣向を凝らした意匠で当時の数寄屋大工の意気込みが感じ取れる。尾道には大正から昭和初期にかけて商家の別荘等として建てられた数寄屋建築がたくさん残っている。現役で使われている魚信は一見の価値がある。大林監督の映画のロケにもたびたび使われ、TVの取材も何度もされている。現在では数寄屋造りの建物を目当てに来られる観光客も多い。

## 3 尾道の老舗旅館 その3

### 西山本館

西山本館は昭和5年創業で、旧出雲街道の起点近くに建つ老舗旅館。建物はもと商家の屋敷で、明治5年に建築、大正11年に増築された。その後増改築が繰り返され、真壁造りの木造2階建てモルタル仕上げの外壁木造3階建ての棟が入口の門構え奥の中庭を囲むように複雑に組み合わせられ、すべての客室が庭に面するように工夫されている。玄関を入ると、大林監督の映画「ふたり」の撮影にも使用された吹抜けや電話室があり、3階には宴会もできる大広間がある。丁寧な仕上げの数寄屋風の和室の他、造船所での船の修理で滞在する外国人船員の宿泊にも対応できる洋室を持つなど、港町の風情を醸す木造旅館。平成27年に登録有形文化財に指定。



## 福山支部

藤井 太郎 / 奥家 彰一  
(福山市文化振興課)

## 福山城 令和の大普請 ～2022年 築城400年に向けて～

福山支部は、福山市、府中市、神石高原町の建築士が所属しています。最近「鞆の浦」が全国的に注目されていますが、ここでは2022年に築城400年を迎える「福山城」を紹介します。

1 築城400年に向けて  
福山城の整備が始まっています2022年8月28日の福山城築城400年まで1年を切り  
ました。

福山市では、多くのイベントなどを通して福山城の魅力を発信するとともに、2020年からは天守や櫓の耐震改修、外観復元など再建後初となる大規模ハード整備を行っているところです。

現在の福山城天守は市制50周年を記念して鉄筋コンクリート造で復興されたものです。

この度の工事は、天守の北側壁面に鉄板張りを施し往時の姿に戻すと共に、内部の博物館についてもリニューアルする予定としており、皆さんに親しんで頂ける施設にしていきたいと思っています。

この工事には、皆さんからの寄附金を事業費の一部として活用させて頂いています。多くの方からご寄附を頂いており、福山城が福山市の象徴として皆さんに愛されている建物だと改めて感じました。ご寄附を頂いた皆さん、ありがとうございます。

## 2 城泊のころこみ

また、福山城には、天守の他にも国の重要文化財である伏見櫓や市の重要文化財である鐘櫓など魅力的な建築物が多数あります。今年度は、国の支援を受けながら、月見櫓を中心として福山城内の建築物や空間を一体的に活用し、体験や宿泊が出来る「城泊」の具体的な企画を行っていくこととしており、見るだけでなく体験しながら楽しんで貰える福山城に生まれ変わろうとしています。

## 3 福山支部の活動

一方、福山支部のまちづくり部会では、築城400年に向けて2015年から講演会を開催しており、これまでに5回実施してきましたが、昨年度はコロナ禍の影響を受け開催する事が出来ませんでした。Webなど新しい手法も検討に入れながら、今年度は感染症対策を講じる中で講演会を開催し、皆さんと一緒に築城400年を盛り上げていきたいと思えます。

福山市にお越しの際には、福山城の生まれ変わっていく様子や、大普請後の姿を是非ご覧ください。



## ■ 譜代大名・福山藩と福山城

今をさかのぼる1619年(元和5年)、徳川家康の従兄弟である水野勝成が西日本の有力外様大名への幕府方の楔として、備後7郡と備中一部の10万石を与えられ、福山藩が成立しました。勝成は、現在の場所に、福山城と城下町を建設し、この町を福山と名づけたとのこと。伏見櫓は築城の際に、京都伏見城の「松の丸東やぐら」であった遺構を徳川秀忠が移築させたものです。1871年(明治4年)の廃藩置県まで、歴代藩主は、水野家5代、松平家1代、阿部家10代と続き、福山城は藩の政治の中心でした。

## ■ 明治以降の福山城

1873年(明治6年)に廃城となり、城内の多くの建物が取り壊されました。1891年(明治24年)には旧城内を鉄道が走る事にもなり、現在、新幹線ホームからお城が最も近く見えるのは福山駅が一番ではないでしょうか。

1945年(昭和20年)8月の福山大空襲では、国宝に指定されていた天守と御湯殿も焼失。赤く燃え上がる天守を見て魂が抜けたようだったというお話を聞いたことがあります。



福山駅(新幹線ホーム)から



筋鉄御門(国 重要文化財)



鐘櫓(市 重要文化財)



旧内藤家長屋門(市 重要文化財)

お城の一部が  
新幹線福山駅の中に!?見つけれなかったら、  
福山支部に連絡してね!

## 東広島支部

兼原 浩樹

# 日本有数の酒どころ西条と安芸の小京都竹原を楽しもう

東広島支部は、広島県の中央沿岸部に位置する竹原市、東広島市、豊田郡大崎上島町内の建築士が所属する支部です。東広島支部エリアの概要と見どころをご紹介します。

## 1 東広島支部はどんなところ

**竹** 原市は、広島県内で最初に伝統的建造物群保存地区に選定された竹原地区があり、安芸の小京都とも呼ばれ、古い町並みが残る風情あるまちです。東広島市は、広島大学など市内に3大学が立地する学園都市としての歩みを進めており、兵庫県の灘、京都府の伏見と並び3大酒どころと評され、人口も年々増加し、活気あるまちです。大崎上島町は、竹原沖の芸予諸島に位置し、造船業が盛んで、ミカン、レモンの栽培にも力を注ぎ、多様なマリレジャーが楽しめる島々から成る温暖なまちです。



竹原(町並み保存地区)

## 2 酒どころ西条

**東** 広島市の西条町は、この酒どころの中心地で、町内には多数の蔵元が集積し、歩いて酒蔵を周遊できることから、観光での来訪者が増加しています。特に、10月に開催される「西条酒まつり」では、全国の酒蔵から1000銘柄を超えるお酒を集め、飲み尽くす「乾杯ひろば」は、好評を博しています。

西条町が酒どころとして発展した要因の一つとして、豊富で良質な地下の伏流水の存在が挙げられています。周囲を山に囲まれる西条盆地内にあり、市街地北方に聳える龍王山に源を発する伏流水が、町の中心部にある酒蔵通りまで、地下の岩盤の下をゆっくり時間(約10~15年)をかけて流れ着き、鉄分が少なく、ミネラル分を含んだ良質な水となっています。良質な伏流水は、町内にある蔵元で仕込み水として利用され、美味しい西条酒の源になってきました。近年、各蔵元の酒蔵が、伏流水を汲みだす井戸の周辺に給水設備を整え、一般に開放したことで、市民の日常生活においても、大変身近な存在となっており、炊飯用やコーヒーなどの飲料用に伏流水を持ち帰り、楽しめる方も多く、生活に彩を加える、西条の宝の一つとなっています。一方で、最近伏流水の水脈周辺で杭施工を伴う工事が増え、伏流水への影響を危惧する声が高まっています。建築物の建設計画を進める建築士として、それぞれの地域で大切にされている宝を守り、発展と両立させることの重要性を改めて感じているところです。



西条の酒蔵(白牡丹酒造)



万年亀井戸(亀齢酒造)



江戸天保井水(西条鶴酒造)



黒松の井戸(山陽鶴酒造)



次郎丸井戸(賀茂泉酒造)

## 3 安芸の小京都竹原

**竹** 原市の町並み保存地区は、江戸期に始まった塩田による製塩業を基盤として酒造業や廻船業などの多角経営に成功した商人達が昭和初期までに築いた大規模な屋敷の集積する地域です。「文教の地」としても知られ、頼山陽をはじめとする多くの町人学者を排出しています。工夫を凝らした竹原格子など、江戸時代の特徴を色濃く残した魅力ある景観を形成しており、映画やアニメ、テレビドラマなど数多くのロケ地としても活用されています。

全国の建築士の皆様!! 広島にお越しの際は、風情ある安芸の小京都竹原のまち並み、20世紀遺産20選に選定された西条酒蔵群での、お酒だけでなく、お酒の仕込み水の飲み比べなども楽しませてみてはいかがでしょうか!



美人の井戸(福美人酒造)



冥加の水(白牡丹酒造)



福神井戸(賀茂泉酒造)



## 県北支部

# 歴史ある様々な文化と豊かな自然の彩り

県北支部の活動拠点である広島県北地方は、庄原市、三次市、安芸高田市からなる地方です。3市それぞれに歴史ある様々な文化があり、豊かな自然を有しています。その概要をご紹介します。

山田 真司

### 1 | 歴史と自然の宝庫

#### 庄原市

広島県最大の面積を誇る庄原市は、歴史と自然の宝庫です。国営備北丘陵公園では、季節ごとの花や遊びで満喫でき、一年を通じて楽しめます。また、国定公園の帝釈峡では、3億年のときが創った雄大な自然を堪能できます。庄原市東城町にある「ヤマモトロックマシン」施設群には、昭和初期に建設された木造の建築群が現存しており、当時の木造建築の粋を感じることができます。



帝釈峡



ヤマモトロックマシン

### 2 | 交通や文化の交流拠点として栄える街

#### 三次市

広島県の北東部にある三次市は、山陰と山陽を結ぶ結節都市として、交通や文化の交流拠点として栄えてきました。中でも、古墳は広島県内の3分の1にあたる4,000基余りがこの地域にあり、中国地方有数の古墳密集地です。また、地元が生んだ日本画と人形作家の夫婦の名を冠した「奥田元宋・小由女美術館」があり、周辺の三次ワイナリーや、みよし運動公園、農業連携拠点施設「トレッタみよし」と一緒に楽しむことができます。少し足を延ばせば、日本で唯一の妖怪博物館「もののけミュージアム」もあります。



奥田元宋・小由女美術館



トレッタみよし



もののけミュージアム

### 3 | 神楽の盛んな毛利元就の本拠地

#### 安芸高田市

全国的にも神楽(かぐら)が盛んな地として有名です。古から伝わる伝統の舞はもちろん、華麗な演出と圧倒的な演劇性、そして見る者を魅了するスピードが見ごたえあります。安芸高田市にある「神楽門前湯治村」では、昔懐かしい温泉街を再現。露天風呂と、神楽専用ドーム施設の「神楽ドーム」で体の芯から神楽を堪能できます。また、戦国大名の毛利元就の本拠地として知られ、その居城でもある郡山城(こおりやまじょう)があった地です。郡山城は、国史跡や日本百名城にも数えられる、中国地方最大の山城です。



神楽



神楽門前湯治村

## 呉地区支部

濱井 義樹

# 呉YWCAについて

呉地区支部は、旧軍港である呉湾の両岸に位置する呉市と江田島市の建築士が所属しています。旧海軍呉鎮守府として明治前期より飛躍的な発展を遂げたこの地域では、工廠を始めとする旧海軍の関連施設が数多く建設されました。戦争末期の空襲により、軍港や工廠の大半は呉市街地とともに破壊され焼失しましたが、残存する旧海軍施設は戦後復興の要となり、現在も多くの施設が近代化遺産として活用されています。呉YWCAは、こうした旧海軍関連の施設の中でも数少ない木造建築物の一つであり、ほぼ当時の姿のまま、今も現役で使われています。

## 呉YWCA

呉 YWCAは、旧呉海軍第2門の進入路である市道に面し、市道と交差するJR呉線と小河川に囲まれた三角地の中にある。呉市に残る旧海軍関係施設のうち、戦災を免れた数少ない木造建築物の一つであり、今も現役で使われている。

線路をくぐる市道側と河川側はやや高さのある石積擁壁が築かれ、特に河川側は石張りの河床から河川護岸を兼ねて城の石垣のような姿で立ち上がっており、鋭角的な建物とともに特徴的な外観を構成する大きな要素となっている。

この河川は、最下流に至るまで旧海軍用地を囲む堀のように直線的に整えられており、三角地もその堀の内側を通過する高架の線路と同一地盤上にある。おそらくここは1935年(昭和10年)に開通した広から呉までの鉄道延伸の際、既設の呉駅をめがけて緩いカーブを描いたために生じた旧海軍用地の残地を、高架の線路の橋台として利用した名残なのだろう。

1942年(昭和17年)の地図に記載があり、1946年(昭和21年)の呉地方復員局資料では海軍施設部衣糧庫とされているが、もともと旧海軍の士官クラブである水交社の施設であったとも言われており、建築時期だけでなく、本来の建物用途についても詳細は不明である。

木造総2階で延床面積約560㎡の建物は、石積上に基礎を築いて

三角地を最大限に利用しており、平面的にはチェックマーク(✓)のようなV字の形状となっている。屋根は瓦葺きから亜鉛メッキ鋼板瓦葺きに替わっているが、下見板張と一部漆喰の外壁はほぼ建設当初のままである。

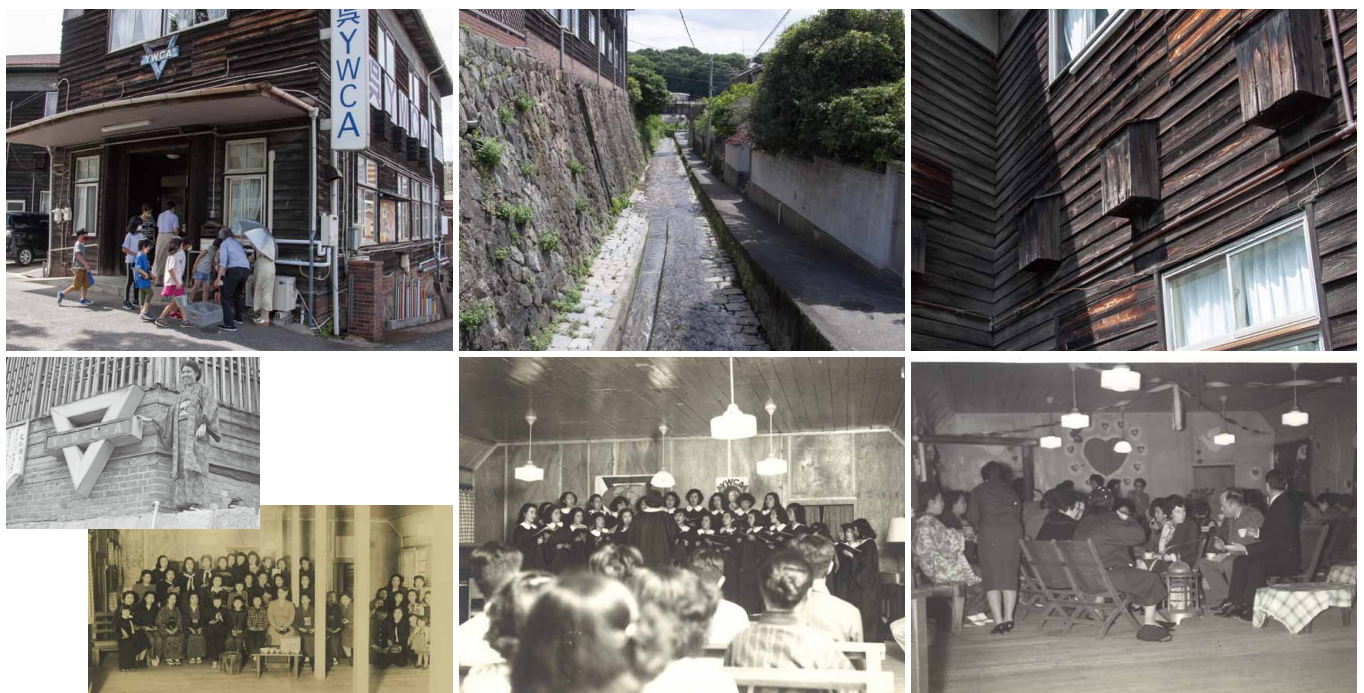
外壁の2階床のあたりには、やや大きめの鳥の巣箱のような箱が並んでいる。この箱は、2階を支える梁が壁の外まで突き出ているために、その先端を風雨から守る覆いとなっている。梁自体は、資材の不足あるいは節約のためか、小さな部材を組み合わせた合成梁となっており、これもまた細めの柱の上に載せられている。

こうした簡素な外装や部材の節約とも思われる構造部材など、旧海軍関係の施設でありながら、華やかな面や構造的な頑強さはほとんど持ち合わせていない。

戦後まもなく英連邦占領軍施設として使用され、建物内部はその際に大幅な改修が行われている。この改修時の図面として簡単な平面図の一部が残っているが、残念ながら改修前や建設当初の資料はまったく見つからない。

平面図には、尺・間の基準で建築されたものをメートル基準に変えたような寸法の記入があり、これが現況寸法にほぼ近いことから、間取り自体が大幅に変更されていることがわかる。

正面入口から建物内部に入ると、踊場から左右に別れて登る両返





し階段があり、V字の突角部にあたる踊場には大きな縦長の窓が設けられている。内観の最大の特徴である階段と、外観を大きく印象づける窓は、改修の平面図にメートル基準での寸法が記入されていることから、おそらく改修時に設けられたものと思われる。

占領軍からの使用許可を得て、この建物を拠点として1948年(昭和23年)4月に発足した民間団体「呉YWCA」は、その後1951年(昭和26年)にこの建物を、1953年(昭和28年)に土地を購入しており、現在ここは、一般財団法人となった呉YWCAが主催する各種教室や、貸室等として利用されている。

竣工から少なくとも約80年を経ているが、主に資金面での理由から、これまで大規模な修繕等は行われていない。当然ながら構造部材や内外装、設備の老朽化は著しく、施設の利用を継続していくためには、早期に構造的な補強を始めとする全面的な補修・改修が必要な状況となっている。これまで呉高専や東京大学、建築士会などの協力も得て現地調査を実施し、改修の検討を進めてきたものの、やはり資金の調達には難しい。

おそらく倉庫として建設されたものであり、お世辞にも名建築とは言いがたい。また風景としては慣れ親しまれていながらも、小高い丘の上にポツンと存在する古びた建物に対し、何となく近寄りやすい雰囲気を感じる人も少なくないだろう。

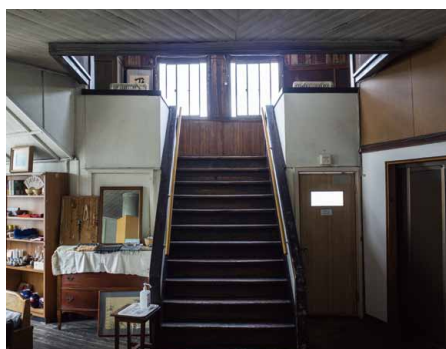
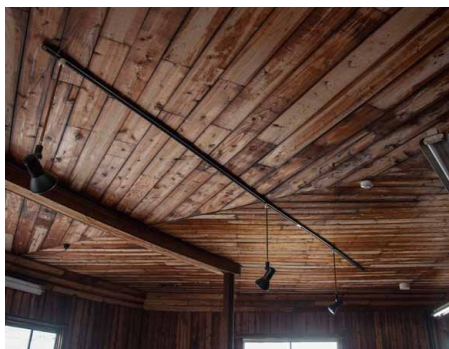
しかし歴史的遺産としての価値はすでに十分備えているはずであり、呉市の由緒あるランドマークであることも間違いない。さらには戦後の女性の社会活動を象徴する施設でもある。外観をできるだけ維持したままで、施設としての機能を損なうことなく活用していくことは、関係者だけでなく、この建物に何らかの愛着を持つ多くの人たちもきっと望んでいるに違いない。そうした中、2016年6月に「なかなか遺産第3号」として認定され、マスコミ等の報道が相次いだことにより、地元以外への認知度も若干ながら向上している。

ただし現状において施設改修に時間の猶予はなく、呉YWCAとしては、ひとまず、確保可能な資金の中で、最小限の補強を含む改修に着手することとなった。また、その流れを確実なものにしていくため、「歴史ある木造建築を未来へ残したい!」とするクラウドファンディング(2021年4月末に終了)による資金調達も開始した。

現在は、クラウドファンディングの第2弾を計画中とのことであり、将来的には登録有形文化財に、という目標もある。

ともかく、さらに認知度を向上させ、もっと広く関心を持ってもらうということが当面の大きな課題かと思う。

※「なかなか遺産」とは、どこにもない特異性をもち、国の重要文化財や世界遺産に認定はされないものの、なかなか、と見るひとびとを唸らせ、次世代に継承させたいと思える遺産のこと。



## 地域交流見学会(幻のエクスカージョン)

7つの地域交流見学会のコースをご用意いたしました。  
広島県の建築や街、歴史、文化をご堪能ください。

Aコース:瀬戸内建築島めぐり

Bコース:世界遺産 日本三景宮島社寺建築と町家めぐり

Cコース:広島の現代たてもものめぐり(半日コース)

Dコース:日本遺産 瀬戸の夕凧 セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦

Eコース:尾道の海が伝える日本遺産めぐり

Fコース:たけはら町並み保存地区・西条の酒造施設群まち並み見学

Gコース:日本遺産建築群と大和ミュージアム

### ■注意事項

コースのご選択に際しましては、以下の事項をご了承の上、ご選択ください。

- 各コースの出発時間の10分前までに集合してください。時間になりましたら出発させていただきます。
- Cコースを除き、出発場所はJR広島駅新幹線口「貸切バス駐車場」です。
- 各コースとも定員を超える申し込みがあった場合、抽選により参加を決定させていただきます。
- 第一希望に添えなかった場合、第2、第3希望を参考に決定させていただきます。
- 最少催行に満たないコースは中止とさせていただきます。



# Aコース

## 瀬戸内建築島めぐり

8:30~17:00 (8.5時間)

《最少催行人数25名/旅行代金24,500円/旅行代金に含まれるもの一貸切バス代、チャーター船代、昼食代、施設入場料》利用バス会社(中国JRバス)

### ① 丸本家住宅(旧浅野藩下茶屋役宅)

下蒲刈島三之瀬地区にある丸本家住宅は、藩政時代、島に置かれていた接待所を管理する武士の役宅であったと言われています。住宅の眼前は海で、福島正則が幕命により築いた「雁木」を見ることができます。

### ② 御手洗の町並み(伝統的建造物群保存地区)

御手洗は、江戸時代、海上交通の発展とともに風待ち、潮町の港として栄えました。港町特有の曲がりくねった路地に江戸から、明治、大正、昭和初期までの町家、商家、洋館などが点在しています。

### ③ 大山祇(おおやまづみ)神社(愛媛県今治市)

伊予国一宮で全国の大山祇神社の総本山です。海の神、武人の神として歴代朝廷や武人、政治家から村上水軍まで広く崇拝を集めました。宝物館には源義経や頼朝が奉納した鎧などの国宝8点を含む数多くの武具類が収蔵されています。

### ④ 契島(ちぎりしま)

廃墟風の工場群の姿から「もうひとつの軍艦島」との呼名もありますが、実は現役の鉛工場。島全体が私有地のため上陸は叶いませんが、瀬戸内のふしぎ島は一見の価値があります。

## スケジュール

- 8:30 JR広島駅新幹線口  
「貸切バス駐車場」(出発)  
↓(貸切バス)
- 9:30 呉港発  
↓(チャーター船)
- ①丸本家住宅  
↓
- ②御手洗の町並み  
金子家住宅  
↓
- 昼食(旅館「茶梅」)  
↓
- ③大山祇神社  
↓
- ④契島(海上より見学)  
↓(チャーター船)
- 17:00 三原港(JR三原駅)(解散)  
※広島空港行きバス乗継可能



呉湾の風景



御手洗の町並み



とびしま海道(岡村大橋)



契島

# Bコース

世界遺産  
日本三景宮島社寺建築と  
町家めぐり

8:30~17:00 (8.5 時間)

《最少催行人数35名/旅行代金12,000円/旅行代金に含まれるもの一貸切バス代、フェリー代、昼食代、施設入場料》利用バス会社(中国JRバス)

## ① 厳島神社

社殿の創設は推古元年(593年)佐伯鞍職によるものと伝えられ、その後、仁安3年(1168年)平清盛によって現在のように海に立つ社殿として造営されました。スケールの雄大さと寝殿造りの技の極致を物語る建築美を合わせ持ち、社殿は6棟が国宝で、14棟が重要文化財に指定されており、どこをとっても威厳と風格に満ちています。

## ② 豊国神社(千畳閣)・五重塔

豊国神社は、天正15年(1587年)に豊臣秀吉が安国寺恵瓊に命じて建設に着手しました。秀吉の死により未完成のまま現在に至っています。桁行13間、背面15間、梁間8間、本瓦葺きの入母屋造りで、その広壮さから千畳閣と呼ばれています。五重塔は和様と唐様の粋を集め、2つの様式を巧みに融合させてあり、応永14年(1407年)に造営したと言われています。

## ③ 町家めぐり(伝統的建造物群保存地区)

宮島の町並みは室町時代から形成され、東町は、住民や来訪者の増加によって「港湾都市及び歓楽街」として発展しました。間口が狭く、切妻屋根で平入りの町家が通りに沿って規則正しく並んでいます。西町は厳島神社、大聖院・大願寺などの社寺を中心に島内で最初に形成されました。小路や町割・石積みなども当時のまま残っています。

### スケジュール

- 8:30 JR広島駅新幹線口  
「貸切バス駐車場」(出発)  
↓(貸切バス)
- 9:30 宮島口  
↓(フェリー)  
①厳島神社  
②五重塔・豊国神社  
昼食(だいこん屋)  
③町家めぐり(見学)  
↓※自由散策も可能
- 15:30 宮島栈橋前(広場集合)  
↓(貸切バス)
- 16:00 宮島栈橋前(広場集合)  
↓(貸切バス)
- 17:00 JR広島駅新幹線口(解散)



厳島神社



豊国神社 五重塔



町家めぐり



町家めぐり

# Cコース

## めぐり(半日コース) 広島 の現代たてもの

### スケジュール

- 9:00 アストラムライン  
「城北駅」(出発)  
↓(徒歩)  
①市営基町高層アパート  
↓(徒歩)  
②広島市立基町高等学校  
↓(徒歩)  
③太田川基町環境護岸  
↓(徒歩)  
④原爆ドーム、  
平和記念公園、  
平和記念資料館  
↓  
12:00 平和記念資料館(解散)

9:00~12:00(3時間)

《最少催行人数10名/旅行代金2,000円/旅行代金に含まれるもの一施設入場料》

#### ① 市営基町高層アパート

大高正人の設計です。戦災復興の中で生じた木造密集住宅解消のため計画された高層住宅群です。屋上庭園、ピロティなど、ル・コルビュジェ提唱のスタイルが存分に活かされたデザインが特徴です。

#### ② 広島市立基町高等学校

原広司の設計です。南棟はピロティや吹抜けを持つ開放的なつくりで、ガラスを多用した軽快な壁面には緑や空が映し出されることにより建築の圧迫感を和らげています。西棟は体育館の上部をアトリウム(アトリエ)としており、北側から自然光を取込むノコギリ屋根が特徴です。

#### ③ 太田川基町環境護岸

中村良夫の設計です。広島では、戦後、川沿いは市民の楽しめる河岸緑地として整備し開放されました。太田川基町環境護岸は、日本でも初期のランドスケープデザインです。

#### ④ 原爆ドーム、平和記念公園、平和記念資料館

廃墟風の原爆ドームは、チェコ人ヤン・レツルの設計で、建設当初は広島県物産陳列館でした。ネオバロック様式を基調にセセッション風の装飾が付き、曲面が多用された建築です。平和記念公園及び平和記念資料館は丹下健三の設計です。平和記念公園は、広島に都市軸を埋め込み、平和を象徴する公園として作られました。平和記念資料館は、ル・コルビュジェの思想を強く受けている建築物で、平和記念公園のゲートとして機能しています。戦後の建築物として最初に国の重要文化財に指定されています。の姿から「もうひとつの軍艦島」との呼名もありますが、実は現役の鉛工場。島全体が私有地のため上陸は叶いませんが、瀬戸内のふしぎ島は一見の価値があります。



市営基町高層アパート



広島市立基町高等学校



基町環境護岸※



原爆ドーム

※(「Viewtiful!ひろしま」(広島市作成)から引用)

# Dコース

日本遺産 瀬戸の夕凧  
セピア色の港町に  
日常が溶け込む鞆の浦

8:00～17:30 (9.5時間)

《最少催行人数35名／旅行代金16,000円／旅行代金に含まれるもの一貸切バス代、昼食代、施設入場料》利用バス会社(中国JRバス)

## ① 対潮楼

福禅寺本堂に隣接する客殿で国の史跡に指定されています。座敷からの眺めは絶景で朝鮮通信使の李邦彦は「日東第一形勝」と賞賛しました。ここは、坂本竜馬が率いる海援隊と紀州藩が「いろは丸事件」の談判を行った場所とされています。

## ② 太田家住宅

江戸時代からの薬用酒「保命酒」の蔵元であった建物で、本邸と通りを挟んだ向かいにある別邸からなり、国の重要文化財に指定されています。また、この地区一帯(鞆の浦)は、国の伝統的建造物群保存地区に選定されています。

## ③ 枳屋清右衛門宅

「いろは丸事件」の際、清右衛門が海援隊を支援して宿舎として提供した住宅です。暗殺の危機もかえりみず談判にのぞんだ覚悟がしのばれる2階の隠れ部屋は観覧が可能です。

### スケジュール

- 8:00 JR広島駅新幹線口  
「貸切バス駐車場」(出発)  
↓(貸切バス)  
JR福山駅(途中乗車可能)  
↓(貸切バス)  
① 対潮楼、常夜灯  
↓  
② 太田家住宅  
↓  
昼食(桑田家)  
↓  
沼名前神社  
↓  
③ 枳屋清右衛門宅  
↓
- 15:00 鞆の浦 発  
↓(貸切バス)
- 15:40 JR 福山駅(途中下車可能)  
↓(貸切バス)
- 16:40 広島空港(途中下車可能)  
↓(貸切バス)
- 17:30 JR 広島駅新幹線口(解散)



対潮楼



鞆の浦(常夜灯)



太田家住宅



枳屋清右衛門宅



# Eコース

## 尾道の海が伝える 日本遺産めぐり

8:00～17:30(9時間30分)

《最少催行人数35名 / 旅行代金14,500円 / 旅行代金に含まれるもの一貸切バス代、ロープウェイ代、昼食代、施設入場料》利用バス会社(中国JRバス)

### 尾道の日本遺産

日本遺産に認定された83件のうち、広島県に関連するものが5件で、この内の3件が尾道に関するものです。

#014 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市(平成27年認定)

#036 “日本最大の海賊”の本拠地:芸予諸島—蘇える村上海賊”Murakami KAIZOKU”の記憶—(平成28年認定)

#039 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～(平成29年認定)

#### ① 平山郁夫美術館・瀬戸田耕三寺博物館

北前船の往来や村上海賊が活躍した芸予諸島の生口島の瀬戸田で生まれ育った画家・平山郁夫は、「私の原点は瀬戸内の風土である」と残しています。平山芸術の原風景をここで発見してください。耕三寺は、世の中のすべてのお母様にありがとうと心から手を合わせる「母の寺」として親しまれ、「西の日光」と呼ばれています。日本各地の古建築を模して建てられた本堂や山門など15棟が国の登録有形文化財に登録され、一見の価値があります。

#### ② 尾道山手地区

千光寺山へ登るロープウェイから見下ろせば尾道水道と箱庭的都市が眼下に広がります。「文学のこみち」では、尾道にゆかりのある林芙美子や志賀直哉の碑を巡ります。斜面地に張り付く様に建つ寺社や古民家、入り組んだ路地と階段を下りながら、途中には空き家再生実例もご紹介します。最後の浄土寺では尾道の歴史秘話にも迫ります。

### スケジュール

- 8:00 JR広島駅新幹線口  
「貸切バス駐車場」(出発)  
↓(貸切バス)  
①平山郁夫美術館、  
瀬戸田耕三寺博物館  
↓  
昼食(瀬戸田すいくん丸)  
↓(貸切りバス・  
ロープウェイ)  
②尾道文学のこみち散策  
↓(徒歩下山)  
浄土寺  
↓(貸切バス)  
16:00 JR尾道駅(途中下車可能)  
※広島空港行きバス乗継可能  
↓(貸切バス)  
17:30 JR広島駅新幹線口(解散)



平山郁夫美術館



耕三寺孝養門



浄土寺から尾道水道を臨む



文学のこみち

# Fコース

たけはら町並み保存地区・  
西条の酒造施設群  
まち並み見学

## スケジュール

- 8:00 JR広島駅新幹線口  
「貸切バス駐車場」(出発)  
↓(貸切バス)  
①たけはら町並み保存地区  
(松阪邸、普明閣、光本邸、  
森川邸)  
↓(貸切バス)  
昼食(樽)  
↓  
②西条の酒造施設群  
(白牡丹酒造、西条鶴酒造、  
亀齢酒造、賀茂泉酒造、  
賀茂鶴酒造)  
↓  
15:00 JR西条駅(途中下車可能)  
※広島空港行きバス乗継可能  
↓(貸切バス)  
16:00 JR広島駅新幹線口(解散)

8:00~16:00(8時間)

《最少催行人数35名/旅行代金13,500円/旅行代金に含まれるもの一貸切バス代、昼食代、施設入場料》利用バス会社(中国JRバス)

### ① たけはら町並み保存地区(伝統的建造物群保存地区)

近世初期、他に先駆け、赤穂から入浜式塩田を導入した竹原は、全国に「竹原塩」の名を轟かせました。町人たちは、製塩業を基盤に醸造業や廻船業などを行うと共に、文化・芸術に親しみ、頼山陽をはじめ多くの町人学者を輩出し、まちは「文教の地」として栄えました。町並み保存地区は、工夫を凝らした竹原格子など江戸時代の特徴を色濃く残しています。

こうした魅力ある景観を活用して、映画「時をかける少女」、アニメ「たまゆら」、NHK 連続テレビ小説「マッサン」等、数多くのロケ地として使われています。

### ② 西条の酒造施設群

西条の酒造施設群付近は江戸時代には宿場町として栄え、日本酒づくりでは主に明治から大正にかけて発展しました。全国的にも珍しく、駅前周辺の狭い範囲に酒蔵が七蔵ほど密集しており、赤レンガで出来た煙突が今でも複数残っています。酒蔵の多くは石州から伝わった来待瓦で葺かれています。2018年に日本イコモス国内委員会から「日本の20世紀産業遺産20選」のひとつに選ばれ、今後、伝統的建造物群保存地区の選定を目指しています。



たけはら町並み保存地区



竹原 普明閣



西条酒造施設のなまこ壁



西条の酒造施設群

# Gコース

## 大和ミュージアム 日本遺産建築群と

### スケジュール

8:00	JR広島駅新幹線口 「貸切バス駐車場」(出発) ↓(貸切バス) ①海上自衛隊呉地方総監部 ↓ ②アレイからすこじま公園 ↓ ③入船山記念館 ↓ 昼食(麦酒館・地ビール館) ↓ ④大和ミュージアム 鉄のくじら館 ↓(貸切バス)
15:25	JR呉駅(途中下車可能) ※広島空港行きバス乗継可能 ↓(貸切バス)
16:00	JR広島駅新幹線口(解散)

8:00~16:00 (8時間)

《最少催行人数35名/旅行代金11,000円/旅行代金に含まれるもの一貸切バス代、昼食代、施設入場料》利用バス会社(中国J Rバス)

## 呉の日本遺産建築群

日本遺産に認定された広島県に関連する5件の内の1件が呉に関するものです。

#035 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴~日本近代化の躍動を体感できるまち~(平成28年認定)

### ① 海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎

明治22年(1889年)旧海軍呉鎮守府開庁後、明治40年(1907年)2代目「呉鎮守府庁舎」として竣工、地下1階・地上2階建ての煉瓦・石積造で戦災復興後も当時の姿を残す建物です。敷地内には戦前の煉瓦建物等が多数現存しています。

### ② アレイからすこじま公園

明治中期後の旧海軍工廠建設期の築堤や工作物等が現存し、近隣の煉瓦建物群は当時の施設の外観を残す地域です。公園から海上自衛隊の係留艦艇も傍観できます。

### ③ 入船山記念館

国の重要文化財に指定されている「旧呉鎮守府司令長官官舎」を中心に歴史的記念物や資料等の保存・展示をしている呉のシンボリックな場所の一つです。

### ④ 大和ミュージアムと鉄のくじら館

旧海軍の資料や船の歴史、海軍工廠や造船による科学技術等の発展、戦後の掃海活動の歴史や資料を展示する施設です。大和ミュージアムには戦艦「大和」の1/10模型等が展示されています。また、鉄のくじら館では、退役した実物の潜水艦をご覧いただけます。



アレイからすこじまの煉瓦建物群



鎮守府司令長官官舎



大和ミュージアム



鉄のくじら館

# 広島大会開催までのあゆみ

2017

### 広島大会実行委員会の動き

■組織図

```

    graph TD
      A[大会実行委員長] --- B[副実行委員長]
      B --- C[企画総務]
      B --- D[相談役]
      B --- E[監査]
      B --- F[総務部会]
      B --- G[財務部会]
      B --- H[広報・資料部会]
      B --- I[式典部会]
      B --- J[会場部会]
      B --- K[フォーラム・セッション部会]
      B --- L[交流部会]
      B --- M[エクスカージョン部会]
      B --- N[ヘリテージ部会]
      B --- O[情報部会]
      B --- P[事務局]
    
```

11月 — 11/20 広島士会理事会 全国大会広島大会開催の承認

12月

2018

1月

2月

3月

4月

5月 — 5/8 広島士会理事会 実行委員会設置承認、大会テーマ募集  
5/16 実行委員会キックオフ

6月 — 6/11 第1回実行委員会 ※広島大会会場視察

7月 — 7/18 第2回実行委員会

8月 — 8/22 第3回実行委員会 ※大会テーマ検討

9月 — 9/19 第4回実行委員会 ※大会テーマ絞込

10月 — 10/17 第5回実行委員会 ※各部会の役割分担の調整

11月 — 11/14 第6回実行委員会 ※会場借上げ日程決定

12月 — 12/19 第7回実行委員会 ※大会テーマ決定

2019

1月 — 1/16 第8回実行委員会 ※基調講演検討

2月 — 2/20 第9回実行委員会 ※アトラクション検討

3月 — 3/20 第10回実行委員会 ※北海道大会でのPR検討

4月 — 4/17 第11回実行委員会 ※エクスカージョン検討

5月 — 5/15 第12回実行委員会 ※運営組織検討

6月 — 6/19 第13回実行委員会 ※ポスター・チラシ検討

7月 — 7/17 第14回実行委員会 ※幟旗デザイン検討、広島セッションの検討

8月 — 8/21 第15回実行委員会 ※式典アトラクション検討

9月 — 9/18 第16回実行委員会 ※北海道大会でのPR検討  
9/21-22 北海道大会での広島大会PR活動

10月 — 10/16 第17回実行委員会 ※広島大会HPの作成

11月 — 11/20 第18回実行委員会 ※バッグのデザイン検討

12月 — 12/18 第19回実行委員会 ※大交流会の試食

## 全国での動き

※広島大会が2020年に開催決定

- 12/7 連合会理事会  
全国大会広島大会開催の承認
- 12/8-9 京都大会開催(視察参加)



実行委員会の様子



- 10/27-28 さいたま大会開催(視察参加)



- 9/21-22 北海道大会(広島大会PR活動)



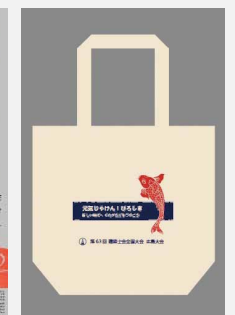
大会PR名刺



記念品ルーベ



大会PRポスター



バッグ

2020

広島大会実行委員会の動き

- 1月 1/15 第20回実行委員会 ※広島大会いざない原稿作成
- 2月 2/20 第21回実行委員会 ※企業広告依頼
- 3月 3/18 第22回実行委員会 (WEB併用) ※物産出店募集、大会冊子検討
- 4月 4/15 第23回実行委員会 ※大会作業マニュアル検討
- 5月 5/20 実行委員会 (中止)
- 6月 6/17 第24回実行委員会 (WEB併用) ※開催延期決定
- 7月
- 8月
- 9月 9/16 第25回実行委員会 (WEB併用) ※開催延期に係る経費検討
- 10月
- 11月 11/5 第26回実行委員会 (WEB併用)  
※延期に伴う全国アンケート (結果: 現地参加意向71.2%)
- 11/25 第27回実行委員会 (WEB併用) ※WEB併用開催検討
- 12月 12/16 第28回実行委員会 (WEB併用) ※全体事業の見直し検討

2021

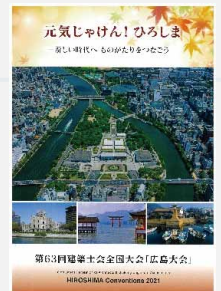
- 1月 1/20 第29回実行委員会 (WEB併用) ※広島大会概要の連合会への説明
- 2月 2/17 第30回実行委員会 (WEB併用) ※感染防止対策及びWEB併用検討
- 3月 3/17 第31回実行委員会 (WEB併用)  
※WEB参加に伴う全国再アンケート  
(結果: 現地参加意向: 62.5%、Web参加意向: 10.9%、  
Web併用運営希望: 70.7%)
- 4月 4/21 第32回実行委員会 (WEB併用) ※広島大会いざない原稿作成
- 5月 5/19 第33回実行委員会 (WEB併用) ※広島大会計画概要の連合会への提出
- 6月 6/23 第34回実行委員会 (WEB併用) ※ポスター・チラシの配布
- 7月 7/21 第35回実行委員会 (WEB併用) ※大会冊子検討
- 8月 8/6 第36回 (臨時) 実行委員会 (WEB併用)  
※広島大会開催の可否検討
- 8/27 広島士会理事会 全国大会の広島開催断念を決議
- 9月 9/22 第37回実行委員会 (WEB併用) ※今後の進め方検討
- 10月 10/20 第38回実行委員会 (メール報告) ※記念対談の概要
- 11月 11/17 第39回実行委員会 (メール報告) ※大会式典の概要
- 11/19-20 広島大会 (東京会場) ※WEB併用開催
- 12月 会報誌「MONTHLY建築士」11月号 「広島大会」記念特別号

2022

- 1月
- 2月
- 3月 「広島大会記念誌」発行
- 3/16 第40回実行委員会
- 3/25 広島士会理事会 実行委員会解散承認
- 4月

全国での動き

- 3月 新型コロナウイルス感染症の拡大  
会報誌「建築士」4月号  
特集「広島大会」へのいざない (掲載)
- 6/5 連合会理事会 全国大会広島大会延期を決議
- 7月 新型コロナウイルス感染症の拡大
- 11/14-15 広島大会開催延期
- 11月 新型コロナウイルス感染症の拡大



- 4月 新型コロナウイルス感染症の拡大  
ポスター等の再配布  
会報誌「建築士」6月号  
特集「広島大会」へのいざない (再掲載)
- 8/24 連合会会長、広島士会会長連名で  
「東京会場にて広島大会の開催」を全国士会に通知
- 8月 新型コロナウイルス感染症の拡大
- 9/24 連合会臨時理事会 東京で広島大会の  
開催を決議
- 11/19-20 広島大会 (東京会場) 開催



- 1月 新型コロナウイルス感染症の拡大
- 会報誌「建築士」4月号 特集「広島大会報告」

協賛団体、企業

<b>支部</b>	広島県建築士会広島支部 広島県建築士会呉地区支部 広島県建築士会東広島支部 広島県建築士会三原支部	広島県建築士会尾道支部 広島県建築士会福山支部 広島県建築士会県北支部	<b>企業</b>	(株)建築資料研究社/日建学院 (株)総合資格学院
-----------	--	---	-----------	------------------------------

大会実行委員会リスト

広島県建築士会

大会実行委員長 佐名田 敬荘

副実行委員長 上木 薫、加藤 史隆

総務部会 (部会長) 林 康文 (副部会長) 河野 房子  
 (部会員) 栄花 彰子、北基 幸祐、奥野 功貴、原田 慎治、沖 洋平、宮崎 昌二、清水 大智、  
 中村 明、武内 盟子、山田 晃、亀島亮、眞倉 翔、篠原 望、河村 亮、小林 大軸、奥家 彰一、  
 伊東 卓哉、赤松 壘、二井 大嘉、井原 真琴、末重 麻衣、島津 亮介、城戸 宏行

財務部会 (部会長) 神岡 千春 (副部会長) 石脇 伸一  
 (部会員) 藤原 正友、加島 晴子、小玉 志帆、藤井 真弓

広報・資料部会 (部会長) 松田 智仁 (副部会長) 吉谷 勝美  
 (部会員) 梶川 彰彦、福田 由美子、佐々岡 由訓、甲斐 美里、金澤 正裕、若井 信、  
 井上 祐司、地井 漁夢、小坂 崇、小瀧 宏治、宮迫 勇次、川上 裕樹

式典部会 (部会長) 宮地 正人 (副部会長) 藤井 秀幸  
 (部会員) 廣田 昌治、今岡 哲也、川畠 満、三好 弘泰、長崎 聖、藤原剛、木村 雄祐、  
 浜岡 和史、武市 勇祐、松原 綾、立石 博志

会場部会 (部会長) 舩盛 浩二 (副部会長) 中居 和志  
 (部会員) 榎本 数也、村田 知也、田端 智樹、和田 健作、山崎 樹理、森下 亮介、内本 康雄、  
 木下 和夫、山根 暢二、池上 和美、森本 謙太郎、香川 寛治

フォーラム・セッション部会 (部会長) 三島 久範 (副部会長) 森保 直也、家頭 昌子  
 (部会員) 長島 周平、村上 克広、橋本 明美、増谷 昌則、平川 英二、濱田 昌範、  
 渋谷 和正、岡田 文夫、平賀 幸壮

交流部会 (部会長) 井手口 耕三 (副部会長) 松本 浩一  
 (部会員) 沖野 浩明、迫谷 政則、実森 尊信、岡田 誠二、平川 英二、尾茂田 一孝

エクスカーショ部会 (部会長) 生田 文雄 (副部会長) 高田 由美  
 (部会員) 柴田 直美、福馬 晶子、柳田 真俊、江南 大樹、長島 周平、野口 美保、石田 光吉、  
 実森 尊信、廣安 耕紀、山中 靖彦、森川 順平、松岡 友夫、川野 仁経、保井 英三、河村 明植、  
 香川 寛治、博多 努、萬ヶ原 伸二、向井 敏美、久保 伸治、清水 俊文、栄花 彰子、正木 宏昌、  
 弘永 佑太、北村 圭、柳河 元木、浦山 豊隆、大森 祐之、津村 栄一、原田 聖将、田口 雄政、  
 中野 敏己、光井 周平、君崎 好信、桜庭 誠、橋 孝司

ヘリテージ部会 (部会長) 濱井 義樹 (副部会長) 橋田 勇人  
 (部会員) 宮崎 淑子、篠部 裕、榎原 節男、酒井 俊壮、岡田 文夫、正尺 文夫、中野 敏己、  
 家頭 昌子、山中 靖彦

情報部会 (部会長) 香川 寛治

企画総務委員 井本 健一、長岡 みゆき

監査 山口 邦良、二井 義博

相談役 元廣 清志

事務局 梶川 鈴恵、中武 美紀、藤高 加奈子

※複数部会に所属する会員は重複記載しています。

# 編集後記

第63回建築士会全国大会広島大会実行委員会  
広報・資料部会 部会長 松田 智仁

広島大会記念誌の発刊にあたり末尾に一枠を頂戴いたします。ご覧いただきましたとおり、全国大会広島大会は2021年11月、東京においてWEB併用にて開催されました。当初2020年秋の広島開催を目標に2018年から準備を進め、2019年はPR活動を行い、2020年春に開催をご案内してからの新型コロナウイルス感染症の感染拡大による一年延期、そして2021年春にWEB併用の広島開催をご案内してからの、秋の東京においてのWEB併用開催となりました。4年間の後半2年は、新型コロナウイルスに翻弄された作業となりました。

広報・資料部会では、ジャンパーの選定、大会PRのためのポスターやチラシ、今回好評でしたPR動画、直前大会での赤く熱いPR活動企画、ホームページや会報誌での開催案内、大会冊子、大会開催報告の作成と目いっぱい作業が続きました。開催前には広島らしさの演出に注力して各種ご案内を行うとともに、開催後には当報告書の編集にあたり、未実施となったエクスカージョンプランを掲載するなどの活動の足跡を残しました。関係者の皆様のご苦勞がこの報告書の拜読によって昇華されることを願います。

また、一部再編集も行っていますが、原稿をお寄せくださいました各位に改めて感謝申し上げます。とりわけ林総務部会長様には多大なるご協力をいただきました、ありがとうございました。

## 「第63回建築士会全国大会広島大会記念誌」

2022年3月

発行	第63回建築士会全国大会広島大会実行委員会 大会実行委員長 佐名田 敬荘 公益社団法人広島県建築士会 会長 井本 健一 〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F TEL:082-244-6830(代) FAX:082-244-3840 <a href="https://www.k-hiroshima.or.jp/">https://www.k-hiroshima.or.jp/</a>
編集	第63回建築士会全国大会広島大会実行委員会 広報・資料部会
部会長	松田 智仁
副部会長	吉谷 勝美
部会員	梶川 彰彦、福田 由美子、佐々岡 由訓、甲斐 美里、金澤 正裕、若井 信、井上祐司、地井 漁夢、小坂 崇、小瀧 宏治、宮迫 勇次、川上 裕樹
デジタル編集	有限会社アクト企画 <a href="https://act-p.com">https://act-p.com</a>

